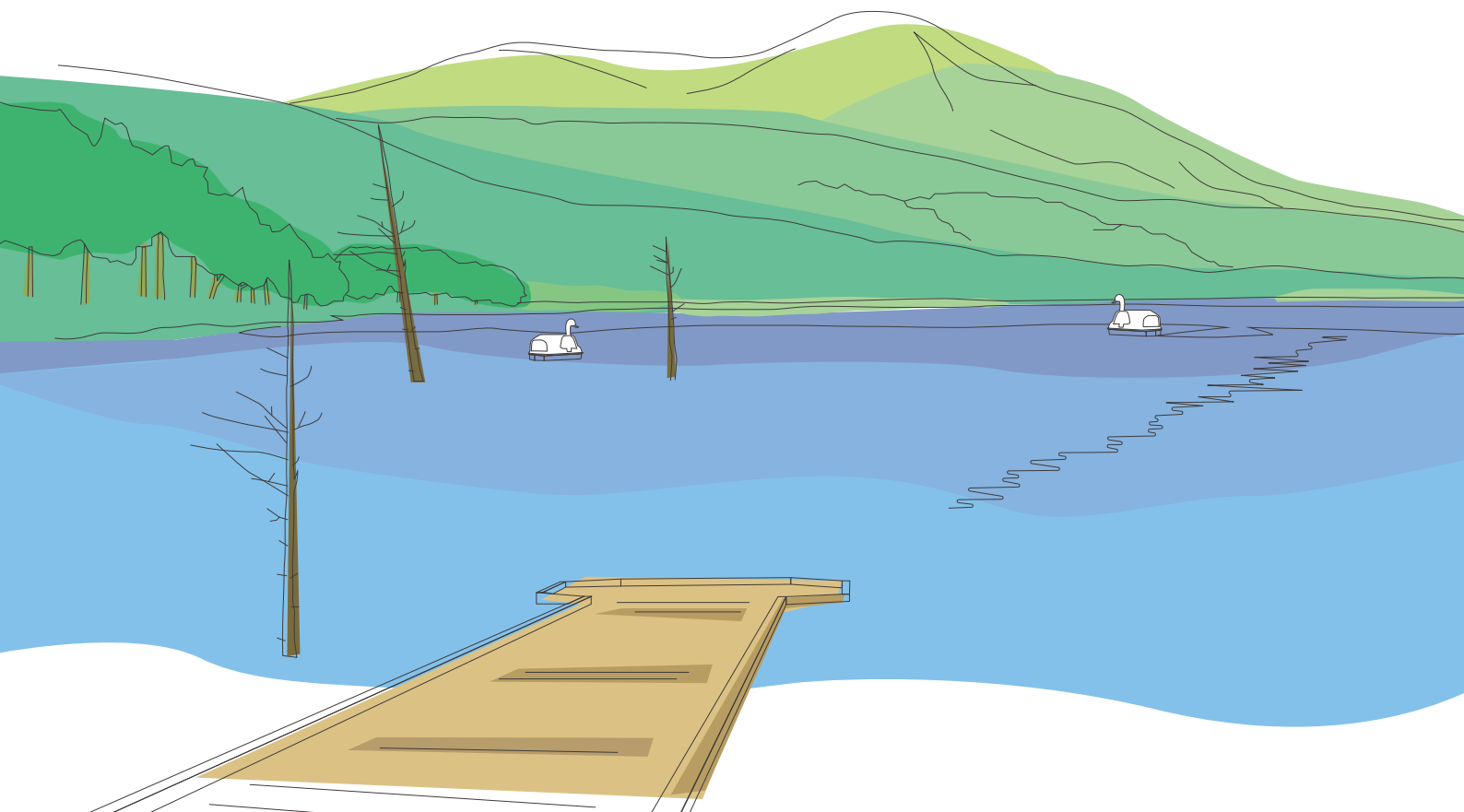


立科町

合併65周年記念

町勢要覧 2020

The 65th Inter-Municipal Amalgamation Anniversary
An Outline of the Tateshina Town





立科町長 両角 正芳

合併65周年にあたり

雄大な自然に包まれた立科町は、本年合併65周年を迎えます。平成から令和という新しい時代を迎え、今日まで、先人が培ってきた努力と英知に敬意を表します。

地球温暖化の影響による異常気象により、昨年10月には東日本台風が日本列島に上陸し、当町においては日降水量が264mmと観測史上最高を記録し、家屋の床上・床下浸水、河川護岸の崩落や導水路・農地等に甚大な被害をもたらしました。

また、新型コロナウイルス感染症が世界各国で蔓延し、2020年東京オリンピック・パラリンピックの延期をはじめ、国内では緊急事態宣言が発令される事態を招くなど、経済や住民生活に大きな影響を与えています。終息が見えない中、感染症対策と経済対策を並行して進める、「新しい生活様式」への移行が必要と考えます。

このような困難を乗り越えるため、町が誇る地域資源を有効活用しながら「澄んだ空!清んだ水!住みよき町に笑顔が弾む!人と自然が輝く町」実現に向け、町民の皆さまと手を携えながら町政運営に取り組んで参る所存です。

このたび、合併65周年を記念し、これまでの当町の取り組みや歩み、現在の姿を紹介する町勢要覧を発行しました。ご覧いただき、私たちのふるさと立科町へのご理解を一層深めていただくことを念願申し上げ、発刊のあいさつと致します。

65th Anniversary of the Merger

Surrounded by a majestic nature, Tatashina town will be welcoming the 65th anniversary of the merger. Welcoming the new Reiwa era from the Heisei era, I would like to express my respect for the hard work and wisdom that our predecessors have cultivated until today.

Due to abnormal weather caused by the effects of global warming, typhoons to the east of Japan made landfall in the Japanese islands in October last year. The daily precipitation of 264 mm recorded in the town was the highest in its history, bringing enormous damages to aqueducts and farmlands, and also flooding the floors of buildings and causing river dikes to collapse, etc.

Moreover, the spread of the novel corona virus around the world greatly affected the economy and the lives of the residents, including the postponement of the 2020 Tokyo Olympics and Paralympics, and a state of emergency being declared in the country. With no end in sight, we believe it is necessary to proceed concurrently with infection control measures and economic measures, and shift to a "new lifestyle".

To overcome such difficulties, we will make effective use of the regional resources that are the pride of the town to achieve a blue sky, sparkling natural springs, a livable town full of smiles, and a town where people thrive and nature shine, while working hand in hand with all the residents of the town to administer the town organization.

On this occasion, in commemoration of the 65th anniversary of the merger, we have issued a town handbook introducing the history and initiatives of the town in the past and its current form. I would like to offer my best wishes for the launch of the publication, with the hope that people will read it to gain a deeper understanding of our hometown, Tatashina.

Masayoshi Morozumi, Mayor of Tatashina Town

蓼科山の麓に広がる町

Contents

蓼科山の麓に広がる町 —

| | |
|-----------------|----|
| 立科町の四季 | 2 |
| 中山道と古東山道 | 6 |
| 受け継がれ育まれていく伝統芸能 | 8 |
| みどころ探訪 | 10 |
| 自然風土を活かした食と農 | 12 |
| 暮らしを支える水路「堰」 | 14 |

人と自然が輝く町 —

| | |
|----------------------------------|----|
| 健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちづくり【保健・福祉】 | 18 |
| 郷土を愛し心豊かな人を育むまちづくり【教育文化】 | 20 |
| 活気ある経済を創造するまちづくり【産業振興】 | 22 |
| 豊かな自然とともに暮らす安全・安心なまちづくり【生活・自然環境】 | 24 |
| 地域の力で活力あふれるまちづくり【協働・自治】 | 26 |
| 未来へつなげよう交流の輪! | 28 |
| 立科町イラストマップ | 30 |
| わがまちの地域おこし協力隊 | 32 |

資料編2020 —

| | |
|-------------|----|
| 立科町のあゆみ | 34 |
| 立科町の概要・統計資料 | 36 |
| 施設一覧 | 47 |
| アクセス | 48 |



無量寺



スズラン



リンゴの花摘み



女神湖



ほっこり…

癒やしの

チャンス

花木の彩り
野鳥のさえずり
優しく頬をなでる風…
長い眠りから覚めた
生命の息吹に
不思議なほどに心が
満たされます





夏

御泉水自然園 夢仙の滝



白樺高原花火大会



蓼科山と女神湖



蓼科第二牧場



サラサドウダンツツジ

ひとときの

ごほうびタイム

涼を感じる水の音

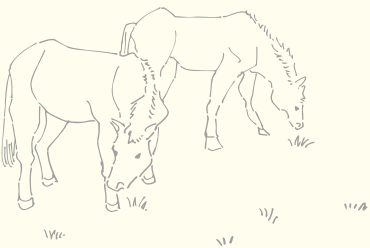
清々しい空気

透き通る青空と輝く緑…

五感で感じるすべてが

ココロとカラダに

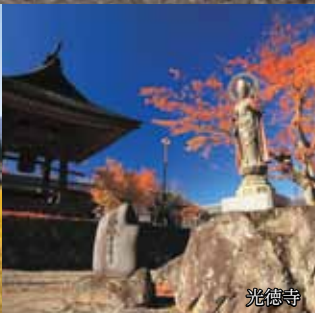
潤いを与えてくれます





津金寺

秋



光徳寺



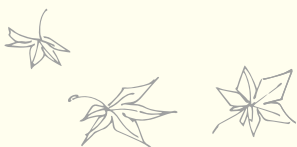
夕陽の丘公園



鮮やかな

ノスタルジー

錦模様に染まる木々
味わい豊かな実り
郷愁を誘う風景：
美しいふるさとの風土が
特別な感動を与えてくれます





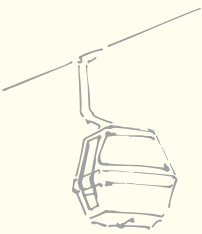
蓼科山と女神湖



ゴンドラリフト



白樺高原国際スキー場



大地を覆う白銀と静寂
陽光を浴びて輝く樹氷：
青と白が織り成す世界
自然が生み出した美しい
瞬間に出会えます

わくわくの
オンパレード



中山道と古東山道

中山道

かさとりとうげ

笠取峠の マツ並木

〔長野県天然記念物〕

The line of pines in Kasatori Pass



近世五街道の一つ中山道は京都と江戸を結ぶ重要道路でした。徳川幕府は街道沿いにマツやスギなどを植え並木を作る政策を推進し、これにより芦田宿の西方1kmの地点から笠取峠にかけて約2kmにわたり笠取峠のマツ並木が整備されました。長野県内では、街道並木が残っているのは「笠取峠のマツ並木」のみであり、とくにアカマツの街道並木は希で、現在も約150本のアカマツが残っています。

江戸時代から先人たちが並木形成のために植栽を繰り返してきたことから、マツ並木の継承にあたっては、中山道の昔日のおもかげを後世へ伝えるため、今後も植栽を行う必要があるとあります。

現在は苗圃を設け、笠取峠のマツ並木の古木から採取した種から植栽用の苗木を育成しています。

中山道

もたいあいのしゆく

茂田井間の宿

Motai Ainoshuku



一里塚跡

間の宿とは、宿場と宿場の間の休憩所として設けられた宿。茂田井間の宿は、中山道望月宿から芦田宿の間にあり、今も江戸時代を彷彿とさせる土蔵造りの町並みや2軒の造り酒屋が現存し、江戸時代の情緒ある町並みを楽しむことができます。また、石割坂を上りきると、江戸より42番目の一里塚跡があります。

古くから東西を結ぶ交通の要衝として栄えた立科町。雄大な自然が見守る中山道や古東山道沿いには歴史を物語る多くの史跡が残されています。かの絵師、安藤広重も魅了され、絵画をしたためた美しく、奥深い歴史の道を歩いてみませんか。

雨境峠

Amazakai Pass



4～5世紀頃、大和朝廷が東国支配のための官道として開いた東山道。大宝2年(702)の令制施行を境に、古東山道と呼ばれるようになったこの道は、大和を発し、美濃から神坂を越えて、信濃に入り、諏訪から蓼科山麓の雨境峠を経て、毛野・群馬県・武蔵・陸奥へと北に通じ、大和政権の東国統治の兵などが往来し、東西を結ぶ交通路として歴史的にも重要な道でした。

雨境峠には、5～6世紀頃の祭祀遺跡、鳴石・勾玉原・赤沼平・鳴石原・鍵引石などがあり、付近から滑石模造品類(勾玉など)が発見されました。模造品は、通行人が峠を越す際に旅の安全を祈り弊を捧げたものと考えられています。



鳴石【町指定文化財】

蓼科第二牧場の駐車場からほど近くに、鏡餅状に重なり合う2つの巨石、鳴石が見えます。雨境峠を中心とした祭祀遺跡群の一つで、その昔、風が強く吹くと鳴ったため、こう呼ばれるようになり、また、この石が鳴ると必ず天気が悪くなるなど数々の言い伝えが残されています。

東西の交流が盛んになった6～7世紀頃、蓼科の神が鎮座する磐石として祀り、通行人の旅の安全を祈ったとされています。



【町指定文化財】 与惣塚・ 中与惣塚

雨境峠の頂上付近、東側に蓼科第二牧場が広がるのどかな地にあり、旅の安全を祈願した祭祀遺跡で、鎌倉時代末期から室町時代初期のものと考えられます。



芦田宿

Ashita shuku



芦田宿は中山道六十九次の26番目に当たる宿場町。慶長2年(1597)に岩間忠助・土屋右京左衛門により「芦田宿立駅」についての願文¹⁾が出され設立されました。文久元年(1861)公武合体政策により14代徳川家茂に嫁いだ皇女「和宮」が江戸へ下る際、芦田宿本陣で昼食をとったとされています。



旧芦田宿本陣土屋家住宅

旧芦田宿本陣土屋家住宅【長野県宝】

慶長2年(1597)、岩間氏とともに芦田宿の開設に従事した土屋家は明治維新まで代々宿本陣を勤めました。現在の客殿は、寛政12年(1800)に再建されたもので、公家や大名の宿泊・休憩に使われていました。今も大名御宿泊を伝える宿札などが残されています。



芦田宿

史跡や文化財の
認知アップや
再評価に向けて

東御市学芸員文書館勤務

田中 浩江さん



茂田井の出身です。中学時代、たまたま遺跡発掘現場を目にして以来、考古学へ傾倒し、発掘と研究にいそしんで今に。ここでは古文書解説や民俗資料の分類整理なども含め、さまざまな史料を詳らかにし、公開・発信・活用などする仕事をしています。

郷土立科の古東山道と中山道の地理的・歴史的検証や大庭遺跡の調査には、今後も精力的に関わっていこうと思っています。



受け継がれ育まれていく伝統芸能

先人が築き、地域の歴史や伝統の中で受け継がれてきた祭りや文化芸能。ふるさとを愛する想いとともに受け継いでいきます。

『獅子舞』

伝統芸能



外倉獅子舞(駒形神社)4月



古町獅子舞(蓼科神社里宮)9月



桐原獅子舞(神明社)9月



藤沢獅子舞(駒形神社)9月

外倉、古町、桐原、藤沢の4地区に受け継がれている伝統芸能の獅子舞。外倉は駒形神社で毎年春に、古町は蓼科神社、桐原は神明社、藤沢は駒形神社でそれぞれ毎年秋に行い、雌獅子一頭、雄獅子二頭から成る「三頭獅子」で、歌と笛・太鼓・三味線・鼓によるお囃子に合わせて獅子舞を奉納します。

道中行列で使う古町区の「蓼科神社秋祭用奉納屋台及び雅楽器一式」は町の指定文化財となっています。



【町指定文化財】

『蓼科神社秋祭用奉納屋台及び雅楽器一式』

江戸中期に造られた総ヒノキ材で中2階造りの屋台。蓼科神社の秋祭(9月)で獅子舞とともに奉納されます。

町民まつり『立科えんど』



平成2年から始まった町民総参加の「えんど」は、地域に根ざした手作り感あふれるお祭り。たてしな音頭や御泉水太鼓、元気いっぱいの子どもみこしに、気迫みなぎる大人みこし、フィナーレの花火など、華麗に、そして力強く夏の夜を彩ります。

立科の方言で「歩いて行く」ことを「えんど行く」といい、この言葉を付けて親しみやすく、かつ祭りの愛称にマッチさせ、第1回に町民から公募し、決められました。(平成2年8月5日命名)開催は、毎年8月第1土曜日です。



聴衆と打ち手の心に響く演奏を後世まで…

御泉水太鼓保存会会長
今井敏夫さん



昭和63年発足、平成から令和へと30年余、若手の成長とともに続いてきました。町民まつりの盛り上げ部隊として、また要請があれば、どこへでも出向いて演奏をします。

太鼓は、音楽であり、体育であり、郷土芸能でもあり、これぞよしという終わりがなく、そうした深遠さが子どもたちに多くの学びを与え、心を躍らせてくれることでしょう。



文化財



津金寺 宝塔 (滋野氏の墳墓)

【長野県宝】

津金寺は、約1,300年前の大宝2年(702)に僧・行基により開山。その後、最澄、円仁により僧侶の学問所である談義所が設けられたと言われています。宝塔は、東信一帯を支配した名族・鎌倉武士滋野一族の供養塔で、数少ない石像文化財。



津金寺 観音堂 【町指定文化財】

正面・側面に円柱が4本立つ三間堂(ほうさんげんどう)という型式で、屋根は入母屋造り(いりもやづくり)、銅板葺き(元は茅葺き)です。



【町天然記念物】

『神代杉』

蓼科神社の御神木。3度の火災によって梢を消失しながらも、今なお枝の一部が青々と茂り、樹高20m、幹周り約10m、樹齢は1,500年を超えと言われています。



光徳寺 不開門 (あかずのもの)

芦田城2代城主芦田光玄が父・光徳の冥福を祈り1451年に建立したと伝えられています。正面入口の不開門は、江戸末期頃の建立と言われ、諏訪の宮大工、立川流の唐破風門造りで見事な彫刻が施されています。



無量寺 六地藏

無量寺は、「おみくじ」の創始者である延暦寺の良源大僧正が、長保5年(1003)に創建したとされる古刹。六地藏の六は、仏教でいう六道にちなんでつけられ、地獄界・餓鬼界・畜生界・修羅界・人間界・天上界の六つの世界をそれぞれが担い、人々を救済するといわれています。顔の表情がひとつずつ異なる六地藏は貴重な文化財です。



【参考資料】
紀伊國屋書店ヒデオ
評伝シリーズ1999年
「学問と情熱」第13巻
保科五無齋「紀伊國屋書店」
平沢信康(2001年)
「五無齋と信州教育」学文社

保科百助が「五無齋」と号するようになったのは、明治29年の鉱石採集旅行中に草履が破れ、新しい草履を買い求めたものの、お金が1厘(現在の5円くらい)足りず、負けてくれるように頼んだものの、聞き入れてもらえず読んだ狂歌からと言われています。

おあしなし 草履なしには あるけなし
おまけなしとは おなさけもなし

蓼科高校に初代校長として赴任すると、明治教育の先駆けとなる同和教育を率先して行い、教職引退後は保科塾を開き、教育を多くの人へ広げるとともに、全国各地で講演したり、新聞で面白おかしく地学の知識を発信するなど、多彩な才能を発揮。現在の長野県立図書館設立に奔走するなど数々の偉業を成し遂げました。自分の理想とする教育「ひたすら突き進む姿が、人々から奇人とも言われた五無齋。明治44年(1911)死去。著書には「信州産岩石鉱物説明書」などがあります。

明治元年(1868)、立科町山部の農家の3男として生まれた保科五無齋(本名保科百助)。
明治24年(1891)に長野県師範学校を卒業すると、真の教育を追い求めて熱意を教職に捧げました。実物教育を訴え、休日には鉱物岩石の採集に努めました。その採集姿は見る人を驚かせるものでしたが、1年半にも及ぶ放浪で5トンもの石を採集して地学標本を製作、「緑廉石」「玄能石」を発見するなど、地質学の研究者として全国に名を成しました。



信州地質学の 原点

保科五無齋(1868-1911)



女神湖

白樺の立ち枯れが朝靄に浮かぶ時、夕暮れに光り輝く時、幻想的な世界を楽しませてくれます。約1.8kmの湖周はレンゲツツジ、スズランなど季節の花々が咲き誇り、朝夕の散策にも適しています。

こころ潤す大自然、四季美しいふるさと

みどろ探訪

女の神山と呼ばれる蓼科山に抱かれた神秘の湖や高山植物の宝庫である御泉水自然園、風さわやかな高原牧場、四季折々に移りゆく絶景など、白樺高原の魅力あふれる自然が楽しめます。



白樺湖

信州を代表する高原ドライブロード、ピーナスラインのほぼ中央に位置する白樺湖。ボート遊び、湖畔のレストランやショップ、美術館、レジャー施設、温泉など、1年を通して楽しむことができ、多くの家族連れで賑わう観光スポットです。



佐久・諏訪・上田までをエリアとしてつなぎ、垣根を越える楽しい企画を進化実現させていきたいですね。観光消費を増やせるよう努めます。

立科を外から客観視できる2拠点生活(休日には家族のいる長野市在住)は、エリアのプロモートを担う上で、プラスに作用しています。立科は、ほどよいスモール感でフットワークよく動け、手応えをダイレクトにキャッチできるのが魅力です。

信州たてしな
観光協会 企画室長
渡邊 岳志さん

よい場所だから
もっとよくできる
と信じて活動





御泉水自然園

ゴンドラリフトで約5分、蓼科山の中腹、標高1,830mに広がる自然園。苔むした原生林に囲まれ、数百種におよぶ高山植物、野鳥、滝などさまざまな自然に出会うことができます。1周約40分の散策路が整備され、森林浴にも最適です。



女神の そらテラス1830

ゴンドラリフト山頂駅にオープンした、女神のそらテラス1830。標高1,830mから眺める景色はまさに絶景です。



夕陽の丘公園

信州のサンセットポイント100選に認定された絶景スポット。眼下に白樺湖、車山、遠く北アルプスまで一望でき、山々の稜線が夕陽に染まるひときは圧巻の眺めを誇ります。



蓼科第二牧場

女神湖から2kmほど北にあり、雄大な山並みを背景に、草原を駆け巡る馬やのどかに草を食む牛たちの姿を眺めることができます。牧場で味わう新鮮な牛乳やアイスクリームはまた格別です。



蓼科 クロスカントリーコース

標高1,580mの蓼科第二牧場内に整備された、全長1,500mのランナー専用コース。足腰に負担の少ないクレイ舗装で、折り返しポイントを利用して平地コースと傾斜地コースが選べるなど、箱根駅伝の常連校も練習する環境で思いきり走ることができます。



美上下地区の高原野菜
レタス・白菜

清らかな水、冷涼な気候、長い日照時間などを活かして、高品質で低農薬な高原野菜が作られ県内外で販売されています。標高が高いため、病害虫が発生しにくく、粘土質の土壌により、葉のやわらかさとほのかな甘み、水分をしっかりと含んだ瑞々しさが特徴です。



「立科ブランド」と呼ばれる名産品を生み出しています。
 生産者の愛情をたっぷり注がれ育まれたりんごや米、
 牛肉や高原野菜など、美味揃いの数々。
 蓼科山から湧き出る清らかな水、豊かな大地、恵まれた気候風土に加え、

食と農

自然風土を活かした

ふるさとの
ぬくもりが育んだ
大地のご馳走



高品質な良食味米
立科産コシヒカリ

米作りに適した重粘土の土壌と蓼科山からの湧き水に恵まれたコシヒカリ。立科産のブランド米として、販売されています。





蜜のたっぷり入った
りんご

さわやかな酸味と甘み、シャキッとジューシーな果肉。日照時間が長く、昼夜の寒暖差が大きい立科町はりんご栽培に最適な環境にあり、良質なりんごの産地として全国的に有名です。

【りんご三兄弟】



ふじ 11月上旬～11月下旬
ジューシーで甘みが多く、蜜が入りやすいのが特徴。



秋映(あきばえ) 10月上旬～
濃い赤色と酸味の強さ、パリッとした歯ごたえが特徴。



シナノスイート 10月上旬～
甘みたっぷり、酸味が少なめで果汁もたっぷり。



シナノゴールド 10月上旬～
酸味と甘みのバランスが良い、濃厚な味が人気。



安心・安全で味が自慢
信州蓼科牛

【伊勢神宮奉納】

蓼科山の裾野で清涼な環境に恵まれ、のびのびと育てられた蓼科牛。柔らかく甘みのある味わいが楽しめます。



ふれあい市
菜ないろ畑



地元会員が運営し、採れたての野菜や果物をお客様と直接ふれあいながら販売する農産物直売所。



蓼科農ん喜村



味処「のんき亭」

地元の農家が生産した新鮮な野菜、果物、山菜など、多種多様な季節の農産物を直売しています。立科産りんごジュースやジャムなどのお土産品、立科産コシヒカリや旬の野菜を使った料理が楽しめる食事処もあります。



クラインガルテン

ドイツ語で「小さな庭」を意味する滞在型の市民農園。都市部などから週末などに訪れ、家族や仲間と野菜や花を育てたり、プチ田舎暮らしが楽しめます。



りんご栽培農家
中島 貴宏さん
山登りが好きで信州に移住しました。4年前、地域おこし協力隊として立科町に来て農業に携わり、りんご栽培を本業としようと決意しました。すぐに答えが出ないのが、農業の魅力でもあるので、長いスパンで先々のことを考えながら、じっくり取り組もうと。気候変動などにも対応すべく、品種の構成を変えたり、新たな栽培方法などにも挑戦し、試行錯誤で研鑽を積んでいます。

地に足をつけて
ブランドりんごの
継承と発展を





『堰』せき

暮らしを支える水路

塩沢堰・宇山堰・八丁地堰



弁天神の出水

地域を潤す約55kmの水路 塩沢堰の開削

江戸初期の寛永12年(1635)、新たな開拓の地を求めて田屋原に移り住んだ初代六川長三郎勝家が、溜池を掘り水田を開いたものの、それ以上の開田は難しく他に水源を求め、寛永18年(1641)、蓼科山麓に弁天神(べていじん)の出水(です)と和見堰の源泉である水出(みずい)を探し当てました。その後、私財を投げ打って里まで堰を掘り始め、正保3年(1646)に塩沢本堰40.8km、和見堰13.9km、総延長約55kmに及ぶ塩沢堰(長三郎堰とも呼ばれる)が完成しました。これにより、新田の開拓が始まりました。



宇山堰石樋

苦難の連続を乗り越えた 宇山堰の開削

宇山堰は、寛永14年(1637)年頃、芦田村の土屋庄蔵と遠山長作が蓼科山山腹の縦の木から湧き出している源水を探し当て、宇山開拓のために堰の開削を計画したもので、慶安年中(1648~1651)に疎水に成功したと伝えられています(宇山古堰)。その後、黒沢嘉兵衛が八重原新田の開発を進め、蓼科大滝に水源を求めて二筋の堰の開削に成功します。このうち、上堰といわれる全長39.3kmを宇山堰と呼ぶようになりました。



八丁地堰

茂右衛門の人柄と度胸で乗り切った 八丁地堰の開削

八丁地堰は、八丁地川の水を当時の小平村の八丁地地籍で取水し、村内を通って茂田井村・芦田村・山部村の3村に通じています。正保2年(1645)、茂田井村の名主茂右衛門が中心となり、幕府の許可がないまま堰の開削に着手(内証普請)し、正保4年(1647)に八丁地の揚げ口から柳塔まで、およそ5.2kmの掘削工事が完成しました。この結果、小諸藩も支援に動き、また、芦田村、山部村も堰開削に参加し、4年後の慶安2年(1649)には、全長約12.73kmの八丁地堰が完成しました。

疎水百選 『塩沢堰』

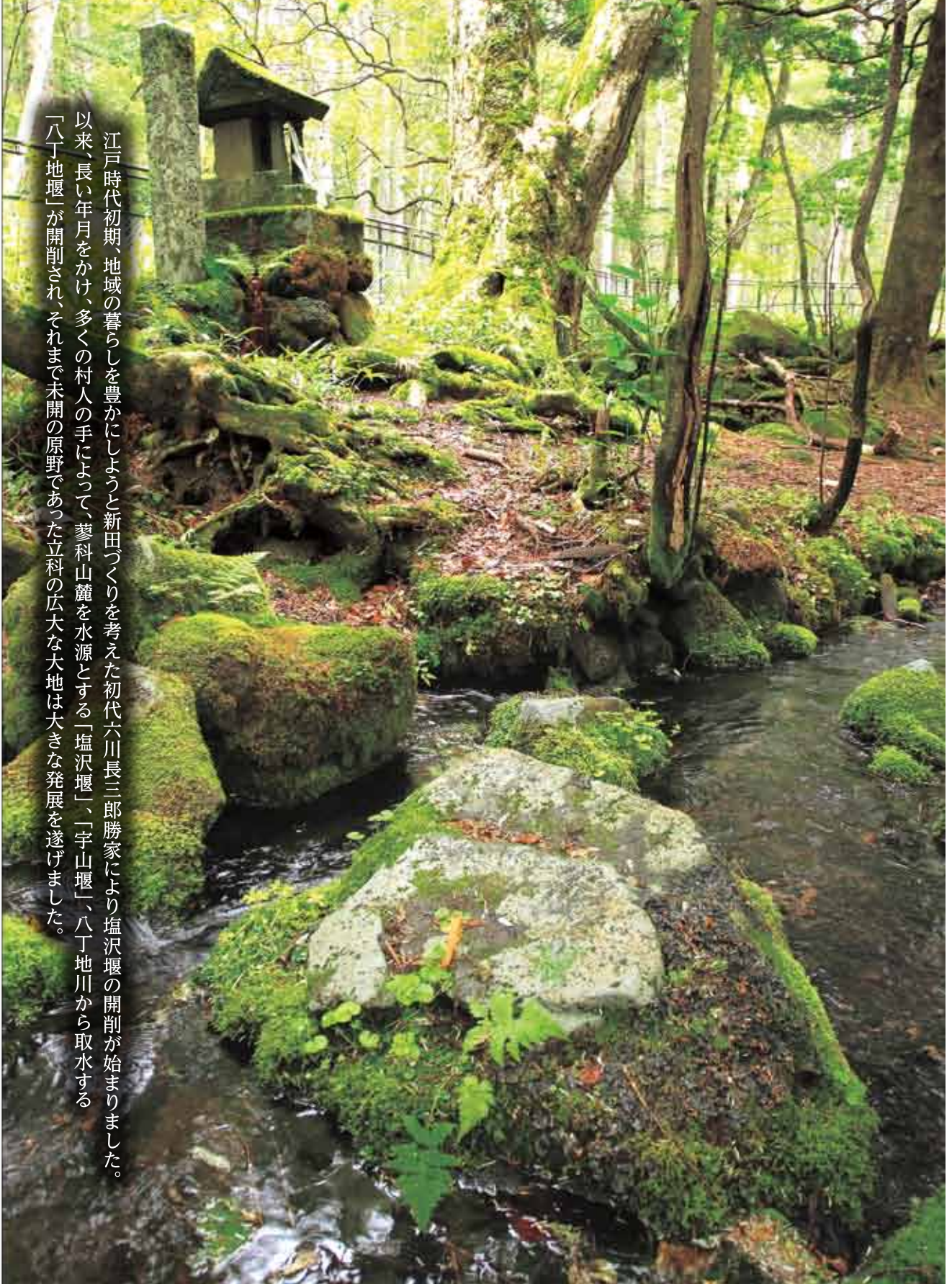


農林水産省が選定する日本の農業を支えてきた代表的な用水「疎水百選」の一つが塩沢堰。蓼科山の湧水を源泉とする堰が開削されたことにより、それまで未開だった大地は美田地帯へと生まれ変わり、集落が形成され、良質な米やりんごの栽培の規模拡大など立科町の農業振興に大きく貢献しました。水道水源や親水公園などにも広く活用され、塩沢堰なくしてこの地域の発展はなかったとも言われています。

塩沢堰と六川長三郎

六川家は、代々長三郎を襲名し、12代六川長三郎が平成22年に亡くなるまで代々立科の水の管理に努めていました。初代六川長三郎は、私財を投じて塩沢堰を開削し、塩沢、細谷、観音寺の3新田を開発すると「新田大将」「水の大将」と呼ばれるようになり、米を作りたいという農民には快く土地の権利を分け与えるなど、地域の人々への思いやりにあふれた人でした。その思いは代々受け継がれ、地域の人々から尊敬と親しみを込めて「大将さん」と呼ばれてきました。

立科町の水の歴史は、六川長三郎とともに歩んできました。



江戸時代初期、地域の暮らしを豊かにしようと新田づくりを考えた初代六川長三郎勝家により塩沢堰の開削が始まりました。以来、長い年月をかけ、多くの村人の手によって、蓼科山麓を水源とする「塩沢堰」、「宇山堰」、「八丁地川」から取水する「八丁地堰」が開削され、それまで未開の原野であった立科の広大な大地は大きな発展を遂げました。



農業用水の維持管理については、常日ごろから地域の皆さんが堰浚いや草刈りなど積極的に参加、協力していただいております。感謝しております。各地で豪雨や大水害が頻発する昨今、ふるさとの財産の保全に携わる責任は重いと感じています。自然とものにあり、仲間と一緒に身体を動かし働く喜びを胸に、気を引き締めて務めています。

先人の努力と
豊かな水の恵みに
感謝を持って

立科土地改良区理事長
六川 利一さん



澄すんだ空！ 清すんだ水！ 住みよき町に笑顔が弾む！

人と自然が輝く町

「住んで良かった」、「訪れて良かった」と幸せを感じられるまちづくりを目指します

A Town of Thriving People and
Resplendent Nature

1

健やかに
いつまでも地域で暮らせるまちづくり

- 心とからだの健康支援
- 高齢者福祉の充実
- 地域福祉の充実

2

郷土を愛し
心豊かな人を育むまちづくり

- 子育て支援の充実
- たくましく羽ばたく立科っこ教育
- 心のふるさととは歴史のふるさと
- 男女共同参画社会の推進
- スポーツで豊かな人生と絆づくり

3

活気ある経済を創造する
まちづくり

- 町の魅力が活きた農業・農村づくり
- 森林の整備と有効活用
- 活力ある商工業の振興
- 異業種連携による立科ブランドの推進
- 魅力ある観光の振興

4

豊かな自然とともに暮らす
安全・安心なまちづくり

- 日常生活の安全と防災対策の充実
- 交通網・公共交通の整備
- 住環境の整備と定住・移住の促進
- 生活を支える水と自然環境の保全

5

地域ので活力あふれる
まちづくり

- 協働のまちづくりの促進
- 地域コミュニティ活動の促進・支援
- 計画的・効率的・効果的な行政運営
- 行政の透明化
- 健全で持続可能な財政運営

健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちづくり



たてしな元気塾

Policies according to different life stages have been rolled out so that each and every resident can personally strive for good physical and mental health, so as to lead a healthy and independent life all the time. In addition to integrating and strengthening the health, medical care and welfare systems so that everyone young and old, regardless of whether they have a disability or are able-bodied, can continue to live a life of their own in a region that they are used to, we aim to create a town where all residents can support and relate to one another well.



はつらつウォーキング教室

住民一人ひとりが自ら心身の健康づくりに取り組み、いつまでも健康で自立した生活が送れるよう、ライフステージに応じた施策を展開しています。

乳幼児から高齢者まで、障がいのあるなしに関わらず、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、保健・医療・福祉体制の連携・強化を図るとともに、住民全体で支えあう、心のかよう福祉のまちづくりをめざします。

心とからだの健康支援

社会環境の変化や生活スタイルの多様化が進むなか、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病、高血圧症などの生活習慣病が増加しています。立科町では、病気の未然予防と早期発見・治療、重症化予防のために、特定健診、特定保健指導、各種がん検診を実施しています。また、日ごろの生活スタイルに沿った生活習慣の改善に向けて町をあげた保健事業に取り組んでいます。

安心して子どもを産み、育てることができるまちをめざして、子育て世代包括支援センターを中心に、妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目ない支援を行います。妊婦健診や乳幼児健診など母子の健康づくりや相談支援、情報提供、交流の機会の提供など、心身ともに健やかに成長できるように母子保健事業の充実に努めます。

高齢者には、介護予防に対する意識向上と壮年期からの健康づくりを推進します。





お口の健康教室



老人福祉センター・保健センター



乳幼児健診



権現の湯

高齢者福祉の充実

人生100年時代を迎え、地域における高齢者の役割はますます大きくなっていきます。立科町では65歳以上の高齢者のうち約80%が介護保険を要しない元気な高齢者で、今後さらに、長年培った豊富な経験や知識・能力を活かしつつ、主体的に地域の担い手として活躍することが期待されています。

仕事や文化、生涯学習、スポーツ、ボランティア活動など、さまざまな分野で活躍できる環境を整え、健康で充実した生活を送れるよう高齢者の生きがいづくりを支援します。

また、介護サービス事業者との連携を強化し、質の高い介護サービスの拡充を図ります。

地域福祉の充実

障がいのある皆さんが、家族とともに安心して生活できるような機会創出や環境整備にも取り組めます。

また、住民の安らぎとふれ合いの場である温泉館「権現の湯」は、平成30年に大規模改修工事を完了。今後さらなる環境とサービスの向上に努め、利用促進を図ります。

新型コロナウイルス感染症対策

新しい生活様式の実践例(抜粋)

基本的感染対策

- できるだけ2m空けよう
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に
- 症状がなくてもマスクを着用
- できるだけすぐに着替えシャワーを浴びよう
- 誰とどこで会ったかメモに残そう
- 家に帰ったら手や顔を洗おう

基本的な生活様式

- 「3密」の回避(密集・密接・密閉)
- 体温測定・健康チェック
- まめに手洗い
- 手指消毒
- こまめに換気

場面別生活様式

- 買い物は通販も利用
- 会話控えめに
- 大皿は避けて料理は個々に
- 持ち帰りや出前・デリバリーを利用
- お店や公園は空いた時間に
- 体調不良の場合は参加しない



筋力、体力を若々しく保つための講座を、町内の施設で週2回開催しています。高齢になるほど、はじめの一步が踏み出しづらくなるので、元気なうちから運動を習慣化し、肩こりや膝痛・腰痛などを予防していく…気楽に！笑顔で！私自身も長く続けられたらと。つらさが減った、体が軽くなったなど、ただ声の励みに、これからは健康増進のお役に立ってまいります。

高齢者体力づくり支援士
シニアフロンティアストラクター
田中光子さん

健康長寿を目指すことで
笑顔の輪を広げたい



郷土を愛し心豊かな人を育むまちづくり



“Tateshina Education” , a program focusing on the integration of nursery, elementary, junior high and senior high school education, is being promoted so that children, on whose shoulders the future lies, can develop sound scholastic abilities and nurture a rich sense of humanity. We also promote urban development that cultivates people with a rich sense of compassion and love for their hometown so that all residents can live a healthy and spiritually rich life over their lifetime, e.g. lifelong learning that is rooted in the region, revitalization of sports activities, conservation and succession of the history and culture of Tateshina town, putting efforts into the dissemination of information, promotion of new attractions and so on.



保育園・小学校給食「地域食材の日」

未来を担う子どもたちが、確かな学力と豊かな人間性を育むために、保・小・中・高連携を軸とした「立科教育」を推進しています。また、すべての住民が生涯にわたって健康で心豊かな人生を送れるよう、地域に根ざした生涯学習やスポーツ活動の活性化、立科町の誇れる歴史文化の保全・継承、新たな魅力や情報発信にも力を入れるなど、豊かな感性と郷土愛に満ちた人を育むまちづくりを推進します。

子育て支援の充実

核家族化や女性の社会進出が進むなか、「たてしな保育園」では、多様な保育ニーズに応えられるよう、延長・早朝・休日保育、一時預かり事業など保育サービスの拡充を行っています。また、立科町児童館「こども未来館」は、子どもや子育て家庭の支援拠点として、放課後や長期休暇中の子どもたちに安全・安心な居場所を提供するとともに、世代間交流やさまざまな体験を通じた児童の健全育成に努めています。さらに、子育て世代包括支援センターを中心として子どもと家庭を地域で支える子育て支援事業の充実に取り組めます。

たくましく羽ばたく立科っこ教育

少子化、国際化、高度情報化など子どもを取り巻く環境がめまぐるしく変化しています。そこで、家庭、学校、地域および行政など、あらゆる関係者が協力し、グローバルな視点を取り入れながら、幼児期教育の充実、学力向上、豊かな人間性の育成と地域振興、特別支援教育の推進などを取り入れた「立科版マルチプラットフォーム」を形成し、積極的に子育てを支援しています。

また、心身ともに健全な成長を願い、いじめ、不登校、虐待などの未然防止やフォロワー体制を充実させ、すべての子どもが「生きる力」を身につけ、次代を担う人材となるような教育活動を推進します。



ふるさと交流館「芦田宿」



放課後子ども教室「学習教室」



ふれあい読書



御泉水太鼓



立科小学校音楽会



立科町児童館「こども未来館」

心のふるさととは歴史のふるさと

立科町には、「笠取峠のマツ並木」、「津金寺宝塔」、「獅子舞」や「御泉水太鼓」など、歴史や地域に根ざした文化財が多く残されています。これら地域の歴史・文化を理解し、愛着と誇りを持ちながら次代に継承できる環境づくりや後継者の育成に努めます。
ふるさと交流館「芦田宿」は、移住サポートやテレワーカーを支える拠点として機能を拡大し、さまざまな人々の交流を通じて歴史、文化、経済がともに発展するまちづくりを推進します。

男女共同参画社会の推進

男女がお互いを尊重しあい、職場、学校、家庭、地域など社会のあらゆる場面で個性と能力を充分に発揮し、平等に責任を果たせるまちづくりを推進しています。令和2年度から令和6年度までを期間とした「立科町男女共同参画長期プランⅣ」を策定し、女性が主体的に社会参画できる基盤づくりを進めます。

スポーツで豊かな人生と絆づくり

いつまでも健康で活力に満ちた生活を送るうえで、スポーツが果たす役割は重要です。子どもから高齢者まで幅広い年代の住民が、それぞれの体力や年齢、目的に応じて運動やスポーツに親しみ、健康増進や心身のリフレッシュだけでなく、住民同士の信頼や絆を深めることができるよう、施設や機会の充実に努めます。



球技大会

少年スポーツ大会



豊かな心を育む暮らしを
移住により実現&進行中

音楽ユニット「ほほえむ」

真辺雄一郎さん×今泉由香さん夫妻

クラインガルテンでの田舎暮らし体験中に、空き家を紹介いただき、昨年春、立科町民となりました。音楽の仕事をするにも、のびのびと感性をフラットに保てる…自然の素晴しさはもちろんですが、近隣のみなさんが、子どもを温かく見守ってくださったり、私たちの生活についても、親身に真摯に助けてくださって。そんな地域性も肌合ひ、心から納得できる場所に出会えたと感じています。

今では野菜づくりもだいぶ上達し、庭と畑でいろいろ収穫できるようになりました。娘も野菜が大好きで、立科の無農薬米ですくすく育っています。子ども時代の過ごし方が、人の根幹をつくると思っていますので、恵まれた教育環境にもすこく満足しています。



活気ある経済を創造するまちづくり



In response to changes in the environment surrounding each industry such as the TPP Agreement, 6th order industrialization, etc., measures to establish a foundation to support forest creation and the development of sustainable agriculture, provide business support to commercial and industrial operators, promote tourism using our abundant nature and so on, were rolled out. In addition, we aim to make good use of our attractive regional resources to promote the Tateshina brand by integrating the agricultural, commercial, industrial and tourism sectors administratively, so as to create a region full of vitality.

TPP協定、6次産業化など各種産業を取り巻く環境の変化に対応し、持続的な農業の発展や森林づくりを支える基盤の整備、商工業者の経営支援、豊かな自然を生かした観光振興などの施策を展開しています。また、魅力あふれる地域資源を活用して、農業・商工業・観光業、行政の連携による立科ブランドの推進を図り、活気ある地域の創造をめざします。

町の魅力が活きた 農業・農村づくり

米・りんご・牛肉・高原野菜など立科産の農産物が、その品質の良さによって立科ブランドとして構築されてきました。付加価値のさらなる向上をめざして、若手リーダーの発掘、後継者の育成とともに、生産技術・品質向上を推進し、安全・安心・安定生産を支援します。また、加工による商品開発、農村・農業体験など、6次産業・観光産業との組み合わせにより、立科ブランドの新たな展開を図ります。



森林の整備と有効活用

町土の約58%を占める森林は、木材の提供、水源のかん養、土砂災害の防止、環境保全機能などとともに、学習、遊び、健康、癒やしの場など多面的な機能を持っています。多様で健全な森林づくりを進めるため、新しい森林管理システムを導入し、利用目的に応じた森林資源の適正な整備と積極的な活用に努めます。



活力のある商工業の振興

雇用の場の確保・拡大や労働環境の整備、生産性の向上など、商工会と連携して中小企業のニーズに応じた力強い産業振興を進めます。また、若年層の定住化に向けた新規雇用の創出や人材育成、創業支援とあわせて、テレワーク事業の推進・受注拡大など、柔軟な働き方の導入による生産性の向上を図ります。



商工祭(多来福まつり)



株式会社 立科町農業振興公社
信州たてしな屋 農産物加工品



陣内森林公園



道の駅 女神の里たてしな(蓼科農ん喜村)



ふれあい市 菜ないろ畑



異業種連携による立科ブランドの推進

株式会社立科町農業振興公社による遊休
荒廃地対策と農業所得の向上、町のマスコット
キャラクター「しいなちゃん」による町のPR、相模
原市観光協会が運営するアンテナショップなど、
産業の枠を超えた農・商・観の異業種連携により、
地域ぐるみで立科ブランドの推進を図ります。



魅力ある観光の振興

女神湖・白樺湖を中心としたリゾート高原エリア、歴史・文化的背景をあわせ持つ
農村エリア、2つのエリアを結びつけた一体的な観光事業の展開を図ります。
また、近隣市町村や県との連携による広域観光の推進、アクセスの利便性向上、
平成29年に開設した道の駅「女神の里たてしな」の活用による地元農畜産物の提供
など、町全体の魅力向上に努め、特色ある観光地づくりを推進します。



蓼科牧場ゴンドラリフト



御泉水自然園



蓼科クロスカントリーコース



蓼科山と白樺湖



しらかば2in1スキー場



白樺高原国際スキー場



県内有数の果樹栽培環境
を誇る立科で、ワイン用ブドウを栽培して4年目。委託
醸造ながら、赤と白各1種類
ずつのワインを初リリースした
ところです。「良いワインは
良いブドウから」...蓼科山・
浅間山を望む雄大な自然の
中、地力あるブドウを育て、
その個性を表現するワインで
地元の農産物とコラボでき
たら。立科ブランドをジョイ
ントするワインに育てたい
ですね。

焼き鳥に合う
ワインを造ろうと
造り手に転身

ヴァンヤード
ファブリーズ代表
安孫子 尚さん



豊かな自然とともに暮らす安全・安心なまちづくり



白樺高原のヒメボタル(第1回信州たてしなフォトコンテスト優秀作品)

To pass on the beautiful natural environment at the foothills of Tateshina mountain that supports our affluent lifestyle, in addition to promoting a recycling-oriented society, we strive to maintain and ensure a safe life by aiming to raise a sense of crisis, build a crisis management system, and enforce the dissemination of information and so on, in response to large-scale natural disasters which have been occurring frequently in various regions around the country in recent years. We aim to build a town that provides a comfortable living environment equipped with a comprehensive range of living amenities such as water and sewage services, transport networks, public transport, etc., a town that people would like to live in and can feel at home.



風の子広場

わたしたちの豊かな暮らしを支える蓼科山麓の美しい自然環境を引き継ぐため、循環型社会を推進するとともに、近年、全国各地で多発している大規模な自然災害に対して、危機意識の向上を図り、危機管理体制の構築、情報の周知徹底など、安全な暮らしの維持・確保に努めます。上下水道、交通網、公共交通など生活基盤を充実させ、快適な住環境を整備し、住んでみたい、住んで良かったまちづくりをめざします。

日常生活の安全と防災対策の充実

あらゆる災害から住民の生命と財産を守る安心・安全な地域づくりに努めます。また交通安全に対する意識の向上と交通環境の整備を進めるとともに、多様化・深刻化する消費者トラブルに巻き込まれないよう、防犯意識の啓発、相談体制の充実により消費被害の発生と拡大防止を図ります。防災対策として、東日本大震災を受けて国や県が見直した防災計画を、さらに地域の実情に即して見直し、「立科町地域防災計画」として策定していきます。

令和元年10月の台風19号による被害の教訓を活かし、自主防災組織の育成、高齢者や障がいのある人などの要援護者対策と危機管理の強化、災害への体制整備、防災マップの見直しや防災情報伝達システムの整備など、災害に強いまちづくりを推進します。



信州防災まったなし 防災キャンペーン



立科町消防団 出初式



中原大深山線・平林真蒲線



立科の水源めぐり学習会



たてしなスマイル交通



秋の全国交通安全運動



子育て支援住宅 サンコーポ[芦田宿南]



新たな住宅団地の整備、住宅の耐震化、町営住宅や子育て支援住宅の修繕・建て替えなど、安心して快適な住環境の整備を進めます。ふるさと交流館「芦田宿」に開設した移住サポートセンターを中心に、空き家バンクと連携を図りながら、定住・移住希望者のニーズに沿った支援の充実に努めます。

住環境の整備と定住・移住の促進

交通網・公共交通の整備

生活の利便性向上や地域活性化を促進するため、交通網の整備および修繕などを計画的に進めています。住民の念願だった国道254号宇山バイパスが令和元年に開通、中部横断自動車道も佐久南ICから八千穂高原IC間の整備が完了するなど、日常生活の利便性や災害発生時の交通網への信頼性が高まりました。今後、老朽化が進む橋や道路の補修と維持管理に取り組み、安全で快適な道路・沿道景観づくりを推進します。公共交通機関については、令和5年度までの5か年計画で、たてしなスマイル交通をはじめとした地域公共交通の再編に着手し、利便性向上による利用者増をめざします。

生活を支える水と自然環境の保全

立科町の水道水はすべて湧水でまかなわれ、住民意識調査でも多くの住民が満足と答えています。排水処理施設の普及率が98・3%(平成30年度)と快適な生活環境が維持されており、今後、老朽化や災害対策など、将来を見据えた大規模修繕や施設の更新を図ります。

自然環境保全に関しては、環境美化への意識向上や啓発活動、パトロールによる不法投棄の根絶など、誇れる郷土の自然を後世に継承できるよう努めます。また、佐久クリーンセンターと川西清掃センターを統合したごみ焼却施設「佐久平クリーンセンター」が令和2年12月に本格稼働し、佐久地域の安全・安定かつ安心なごみ処理体制を維持するとともに、再生可能エネルギーの導入や3R(リデュース、リユース、リサイクル)など循環型社会を促進します。

町のみなさんが感謝し、応援してくださる活動にやりがいを感じ、気がつけば27年。過去には、山火事の消火など緊張の現場もありました。現在は、16ある分団の状況を把握し無理や無駄をなくすこと、団員の無事を預かり、時にはプレーキをかけることも任務のうちと認識を新たに、広域化や効率化といった新しい動きにもアンテナを延ばし、時代にマッチした組織を目指しています。

団員の負担削減への舵も切りながら信頼に込めていく

立科町消防団長 中村 収さん

地域の力で活力あふれるまちづくり



立科町役場

Together with changes in the social landscape, the needs for town administration are also becoming more complex and diverse. To resolve this problem, in addition to promoting urban development by making full use of the vitality of the residents and private sector and cooperating with administrative agencies and local residents, we are working to advance work optimization and other fiscal reforms, and to build a sound fiscal foundation. Besides raising awareness in town administration by actively communicating information related to town administration and urban planning, we aim to promote the participation of residents in town administration, build a structure that allows the voices of the residents to be accurately reflected, and build a town that can be self-reliant in future.

社会情勢の変化とともに、町政に対するニーズは高度かつ多様化しています。この問題解決のため、住民・民間の活力を最大限に活かし、行政と地域住民の協働によるまちづくりを進めるとともに、事務の効率化など行財政改革を進め、健全な財政基盤の構築に努めています。

また、町政やまちづくりに関する情報を積極的に発信することで町政への関心を高めるとともに、町政への住民参加を進め、住民の声を適確に反映できる仕組みを構築し、将来にわたって自立可能なまちづくりをめざします。



行政資料コーナー (役場内)



立科町ホームページ

【立科町がんばる地域応援事業交付金で支援した活動】



▲「白樺樹皮細工」の担い手育成事業



◀芦田城址の景観保全・歴史継承プロジェクト

協働のまちづくりの促進

住民の力を積極的にまちづくりに活かすため、情報を積極的に公開し、町政への関心を高めるとともに、まちづくりへの目標や役割などを一緒に考える機会を設け、協働意識の向上を図ります。また、住民一人ひとりがさまざまな機会でもちづくりに参画しやすい環境の整備および地域活動を行う団体への支援の強化に努めます。

地域コミュニティ活動の促進・支援

高齢化や核家族化などにより、地域の持つ力やつながりが弱まるなか、新たな地域コミュニティづくりに取り組むため、地域担当職員を各地区へ配置し、信頼関係を築きながら、住民同士の間で強化や参加意識の醸成、地域の課題解決に向けた自主的かつ主体的な地域活動を支援します。また、地域内での交流にとどまらず、姉妹都市との交流、世代間交流などふれあいの機会を創出します。

計画的・効率的・効果的な行政運営

地方分権が進むなか、より効率的かつ効果的な行政運営が求められています。新たな行政課題や刻々と変化する社会情勢に積極的かつ柔軟に対応できるよう、人材の育成と確保、行政改革を進め、住民の視点に立った質の高い行政サービスの提供に努めます。

行政の透明化

広報紙、出前講座、ホームページ、SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）など各種メディアを活用し、常に最新の情報を正確かつ効果的に発信しています。平成30年12月からは、議会定例会の生放送も開始するなど、積極的な情報公開により、町政への関心を高めるとともに行政の透明化を推進します。

健全で持続可能な財政運営

豊かな森林資源を活かした財源確保やふるさと寄附金など新たな財源確保に努めるとともに、健全な財政基盤の強化を図り、安定した自主財源の確保および持続可能な財政運営に努めます。



町長 両角正芳 副町長 小平春幸 教育長 塩澤勝巳



議長 森本信明 副議長 榎本真弓



立科町議会



青少年の育成事業に力を入れていきます。今年、たてしな保育園との協働で、子育て講演会を開催しました。この町で生まれ育った感謝に、何かしらの恩返しで報いたいという思いは強いです。芦田城址の整備や津金寺ホタル生息地の復活などさまざまなことに長く取り組んできましたが、今後も時節に見合った奉仕活動を、適宜更新したり継続したりしながら、地域に貢献したいと望んでいます。

地域が求める活動を
自発的に友好的に
掘り起こし続けたい



蓼科ロータリークラブ会長
関 俊之さん

世代を超え、
地域を越え、
育む絆

未来へつなげよう交流の輪！



オレゴン市中学生派遣事業



姉妹都市提携45周年記念式典

The City of Oregon is a city with the history. Located in Oregon state on the West Coast of the US, the time difference with Japan is -17 hours. In 1974, Oregon city and Tateshina became sister-cities, occasioned by an international classroom hosted in Tateshina. Since that time, along with a shared commitment to mutual understanding, development, and lasting friendship, a lively international exchange in areas such as ALT dispatch and culture including visit by a delegation of junior high school students to Oregon have took place.

オレゴン市は、アメリカ西海岸のオレゴン州に位置する歴史ある都市で、日本との時差はマイナス17時間。立科町で開催していた国際学級が縁で昭和49年に姉妹都市提携を結びました。以来、お互いの理解と発展、永久の友情を誓い合い、中学生のオレゴン市派遣をはじめ、ALT派遣・文化など異文化交流事業を行っています。

「姉妹都市」
アメリカ
オレゴン市



清瀬市 ● 東京都
相模原市 ● 神奈川県
愛川町 ● 神奈川県

愛川町は、神奈川県中央北部に位置し、水と緑に囲まれた自然豊かな町です。昭和62年に友好都市提携を結んで以来、「愛川町一周駅伝競走大会」「愛川町ふるさとまつり」「えんてこへの相互参加なびスポーツ」文化、教育、産業など各分野で交流を深めています。

「友好都市」
神奈川県 愛甲郡
愛川町



清瀬市 ● 東京都
相模原市 ● 神奈川県
愛川町 ● 神奈川県



清瀬市は東京都多摩地域東北部に位置し、およそ半分が緑地という自然に恵まれたまちです。昭和45年、清瀬市が白樺高原に山荘を建てたのを機に交流が始まり、東日本大震災の発生後には災害時相互応援協定を締結。平成27年、友好関係をさらに促進するため、交流都市提携に関する協定を締結しました。

「友好交流都市」
東京都
清瀬市



女神湖 ビーナスマラソン

標高1530mの女神湖畔で毎年6月に行っている、「日本一標高の高いハーフマラソン」。町内外から多くのランナーが集い、ともにさわやかな汗を流します。



スポーツ交流

女神湖歩け歩け大会

毎年10月に開催する、標高700mから1500mの高原をゆつくり歩いて楽しむ大会です。町内外から多くの参加者が集まり、健康増進、体力向上とともに女神湖の美しい紅葉を楽しみます。



町民大運動会

4年に1度開催される「町民大運動会」。綱引き、大玉送り、大縄跳びなど子どもから大人まで参加し盛り上がりがあります。



立科町 出身者との 交流

蓼科すずらん会

平成3年に東京近郊在住の立科町出身者を中心に結成され、会員同士が親睦を図りながら、立科町の応援団として物産展など各種イベントを通じてふるさととのPR活動や誘客など、さまざまな支援を行っています。



都市・農村交流

交流促進センター「耕福館」は、農村空間や伝統文化を活かした体験ができる施設です。
農作業・工作体験などの各種体験を通じて都市部と農村住民がふれあえる交流の場として、これまで多くは関東圏の小・中学生を中心に子どもから大人まで約43000人が来訪しています。



経済・観光交流

神奈川県・相模原市、相模原商工会議所

平成19年、立科町と立科町商工会は、神奈川県相模原市および相模原商工会議所と「経済・観光に係る交流協定」を締結しました。白樺高原に相模原市の保養施設がある縁で締結以前から続いていた民間交流を礎として、物産品販売や観光PRなど、地域経済の振興を推進します。

世代間交流

児童館で行っている放課後子ども教室は、地域の方を講師として地域文化の伝承や知識の継承などのさまざまな教室を実施しています。違う世代の人と触れ合うことで、年齢の壁を超えた交流を深め、立科町の活性化につなげます。



わらじ作り



児童館(こども未来館)

ホストタウンウガンダ共和国

ウガンダ共和国のホストタウンに登録しています。金メダリストスティーブンキプロティッチ選手が2017年町を訪問。2018年立科町国際交流推進協議会を設立。相互に訪問しホストタウン事業関連の協力協定を締結しました。



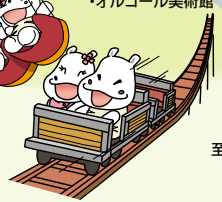
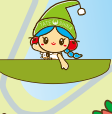
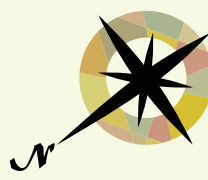
ウガンダ共和国

ウイクトリア湖



beyond 2020 HOST TOWN





高原エリア

蓼科山 (2531m)

蓼科山

將軍平

至大河原峠

一ノ鳥居

蓼科山
七合目登山口

ごせんすいせいぜんえん
御泉水自然園

御柱公園
Lovers' Sanctuary

至蓼科高原
諏訪IC

展望トイレ

山頂駅

幸せの鐘

女神のそらテラス1830

蓼科山麓

アンニツバム

白樺高原国際
スキー場

南平

白樺高原

ビーナスライン

夢の平展望園地
夢の平キャンプ場
(冬期閉鎖)

白樺高原
総合観光センター

夕陽の丘公園

御柱の道
トレッキングコース

体験学習館ルミエール
白樺高原美術館

しらかば
2in1スキー場

コアハウス2in1

蓼科第二牧場

陣内森林公園
陣内マサセンター

蓼科クロスカントリー
コース

朝日の丘公園

鳴石

長門牧場

与惣塚

鍵引石

女神湖
クリスタルチャーチ

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖スポーツ広場
しらかば1530

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

女神湖

ヒメボタル
(7月)

白樺リゾート
池の平ホテル

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺リゾート
池の平ホテル

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖温泉
すずらの湯

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

白樺湖

立科町 イラストマップ



里 エ リ ア



“たてしな”に、新鮮力！

わがまちの地域おこし協力隊

「地域おこし協力隊」とは、人口減少や高齢化の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

立科町では、平成28年に第1期の協力隊員を委嘱し、現職4名を含む計8名の皆さんに活動していただいています。



【担当】観光振興
【出身地】愛知県

山本 祐季さん

私は以前、webマーケティングの手法を使ってさまざまな商品やサービスをプロモーションする仕事をしてきました。そんな経験を活かして魅力のある立科町が多くの皆さんに知られるようインターネットを通じて発信しています。特に立科町は星空をはじめ美しい自然が多いので、これらの自然がより多くの皆さんの心に刺さるように発信し続けていきます。



【担当】観光振興
【出身地】埼玉県

梅澤 千夏さん

旅行記者の経験を活かし、自ら足を運び観光PRや営業活動のほか、ガイド等のお手伝いをさせていただいております。立科町は小さな町ながらも、美しく豊かな自然や古き良き日本の原風景、そこに息づく伝統・文化など魅力が溢れています。これらを絶やさないためにも多くの人を引き寄せ、魅力を伝えていきたいと思っております。



【担当】移住定住促進
【出身地】東京都

永田 賢一郎さん

大学院卒業後から神奈川県横浜市で建築設計やまちづくり、地域活性化などの活動を行ってきました。地域おこし協力隊に着任してからは、移住定住の相談や空き家の利活用、改修のお手伝いといった事から地域拠点づくりの提案等を担当しております。魅力的な場所づくりに尽力して参りたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



【担当】国際交流
【出身地】宮城県

須藤 佳奈さん

ウガンダでJICA海外協力隊として活動していた経験から、当町のホストタウン事業に携わっております。町民にウガンダを知ってもらうべく、写真展開催や、在日ウガンダ人を招いたイベント、国際理解講座などを行いました。現在はケーブルビジョンでのウガンダ情報発信を行っています。「多文化共生社会」の実現に向けて取り組んでいます。

立科町勢要覧



資料編

2020

Contents

| | |
|-----------|----|
| 立科町のあゆみ | 34 |
| 立科町の概要・気象 | 36 |
| 人口 | 37 |
| 保健 | 38 |
| 福祉 | 39 |
| 教育・文化 | 40 |
| 建設 | 41 |
| 生活環境 | 42 |
| 産業 | 43 |
| 財政 | 46 |
| 施設一覧 | 47 |
| アクセス | 48 |



「立科町のあゆみ」は、前回の町勢要覧発行年より掲載します。

2015【平成27年】

- 2月24日 立科しあわせプラン第5次立科町振興計画策定
- 3月6日 立科町の面積改定 66.87km²(国土地理院発表平成26年10月1日時点)
- 3月26日 東京都清瀬市と友好交流都市提携協定締結
- 3月29日 東京都豊島区との交流記念 ソメイヨシノ植樹式(交流促進センター)
- 4月12日 長野県議会議員一般選挙執行
- 4月26日 立科町から今井正子氏(4期)が当選
- 4月26日 立科町長・立科町議会議員一般選挙執行
町長に米村匡人氏が初当選
- 5月7日 町議会議員に土屋春江氏(立科町初の女性議長)、副議長に田中三三氏選出
県内市町村議会で初めて女性正副議長が同時就任
- 5月16日 副町長に山浦智城氏選任
- 7月1日 教育長に宮坂晃氏就任
- 8月15日 オレゴン市より姉妹都市親善大使兼英語指導助手(AET)にジェフリー・ウイリアム・クルーガー氏就任
- 9月13日 第1回女神湖カヌー駅伝開催
- 10月1日 国勢調査実施、人口7265人
- 11月13日 沿線8市町および長野県で信州ビーナスライン連携協議会設立
- 11月16日 合併60周年記念式典
- 11月24日 まち・ひと・しごと創生 立科町人口ビジョン及び立科町総合戦略 策定
- 11月27日 たてしな保育園幼年消防隊結成
- 12月14日 移住体験住宅竣工

2016【平成28年】

- 1月1日 永井宗夫氏に天皇陛下から瑞宝双光章が授与される
- 1月27日 立科小学校子ども議会(立科町初)議場で小学生6年生12人が質問
- 2月1日 田中賢一氏に天皇陛下から旭日単光章が授与される
- 2月8日 千曲川ワインバレー特区連絡協議会設立
- 3月19日
- 3月26日 立科中学校1年生4名、2年生4名がオレゴン市を訪問
- 5月2日 立科町地域おこし協力隊員に中島貴宏氏と浜野みゆき氏を任命
- 5月28日 公民館図書室開室30周年記念セレモニー
- 6月13日 宮下典幸氏に長野県知事表彰が授与される
- 9月4日 立科町総合防災訓練開催

- 10月15日 立科小学校開校40周年記念式典
- 10月24日
- 11月1日 町議会主催「町の未来を語る会」を町内16会場で開催

2017【平成29年】

- 1月7日 「権現の湯」の入館者が400万人を達成
- 1月10日 マイナンバーカードを使った証明書のコンビニ交付開始
- 2月1日 信州カラマツの故郷佐久森林認証協議会設立
- 2月5日 神奈川県愛川町との友好都市提携30周年
- 2月12日 第1回立科町ふらばーるバレー大会開催
- 4月26日 町議会議員に西藤努氏、副議長に田中三三氏選出
- 4月28日 ふるさと交流館「芦田宿」リニューアルオープン
- 5月1日 立科町地域おこし協力隊員に牧内久美氏を任命
- 6月1日
- 6月2日 JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を立科中学校と立科小学校で初開催
- 6月26日 道の駅の名称が「女神の里たてしな」に決定
- 7月16日 立科中学校男子バレーボール部が長野県中学校総合体育大会で準優勝し北信越大会出場
- 7月20日 農業委員改選 会長に宮下芳昭氏就任
- 8月19日 立科小学校合唱部が長野県学校合唱大会で金賞受賞
- 10月22日 衆議院総選挙執行
- 10月26日 立科町移住・定住アンバサダーとして14名を認定
- 11月17日 県内45番目の道の駅として「女神の里たてしな」が登録
- 11月19日 故鈴木一考氏(芦田出身)より6千万円寄附される
- 12月3日 立科小学校が「第17回ふるさとCM大賞NAGANO」で感動賞を受賞
- 12月5日 ウガンダ共和国から、ロンドンオリンピック男子マラソン金メダリストのステイブンキプロティツ選手が来町

2018【平成30年】

- 2月14日 立科町・日本郵便株式会社立科郵便局
地域における協力に関する協定を締結
- 2月28日 東京オリンピックに出場するウガンダ共和国の陸上競技中長距離種目のホストタウンに登録
- 6月1日 立科町地域おこし協力隊員に熊谷進一氏と梅澤千夏氏を任命
- 7月1日 北佐久消防協会消防ポンプ操法・消防ラッパ吹奏大会で、小型ポンプ操法とラッパ吹奏で準優勝

7月3日 白樺湖畔を一周するランニングコース「白樺ぐるりん」オープン
 一般社団法人信州たてしな観光協会設立 会員数115
 7月4日 ホストタウン事業の推進や国際交流の推進を目的とした立科町国際交流推進協議会発足

7月10日 「女神のそらテラス1830」オープン
 7月28日 第29回町民まつり「立科えんどこ」 台風12号の接近に伴い初の中止
 8月1日 立科町地域おこし協力隊員に山本祐季氏を任命
 8月5日 長野県知事選挙執行 阿部守一氏が再選

8月11日 立科中学校2年生2名、3年生6名がオレゴン市を訪問
 8月18日 オレゴン市から姉妹都市親善大使兼外国語指導助手(AIT)にダラ・リカルド氏就任
 8月20日 ホストタウン事業 駐日ウガンダ共和国特命全権大使が立科町を訪問
 8月21日 2018町民大運動会開催(優勝町分館)

9月9日 故小淵袈裟平氏に天皇陛下から旭日単光章が授与される
 9月22日 立科中学校60周年記念式典
 9月27日 ホストタウン事業 米村町長ほか総勢6名がウガンダ共和国を訪問
 10月6日 ウガンダ共和国から事前合宿受け入れ地視察に2名来町
 12月12日 立科小学校6年2組が「第6回全国小中学校リズムダンスふれあいコンクール」で小学校規定曲部門第4位

2019【平成31年・令和元年】

1月18日 蓼科高校が「キャリア教育優良学校」として文部科学大臣表彰を受賞
 2月14日 立科町・生活協同組合コープながの
 高齢者等地域見守り活動に関する協定を締結
 3月1日 立科温泉「権現の湯」 リニューアルオープン
 4月5日 川西清掃センター可燃ごみ焼却施設閉炉式
 4月7日 長野県議会議員一般選挙執行
 4月21日 立科町長・立科町議会議員一般選挙執行
 町長に両角正芳氏が初当選
 元号が「平成」から「令和」に改元
 5月1日 阿部知事と(一社)信州たてしな観光協会による県政ランチミーティング開催
 5月10日 町議会議長に森本信明氏、副議長に榎本真司氏選出
 5月16日 副町長に小平春幸氏選任

5月20日 在ウガンダ共和国日本大使館亀田和明特命全権大使が来町
 6月12日 ウガンダ共和国から長距離種目の強化指定選手2名が来町
 6月17日 蓼科第二牧場内に「蓼科クロスカントリーコース」を新設
 6月15日 北佐久消防協会消防ポンプ操法・消防ラッパ吹奏大会で、ポンプ車操法とラッパ吹奏で準優勝

7月7日 参議院議員通常選挙執行
 7月21日 故箕輪修二氏に天皇陛下から旭日単光章が授与される
 7月28日 オレゴン市・立科町姉妹都市提携45周年記念 オレゴン市から、ベス姉妹都市委員長ほか総勢4名の訪問団が来町
 8月2日 立科小学校が「令和元年度長野県学校給食優良学校」として表彰される
 8月4日 国道254号宇山バイパス開通
 9月4日 消費税・地方消費税が10%に引き上げ
 9月21日 立科町プレミアム付き商品券(低所得者・子育て世帯向け)を販売
 10月1日 立科町地域おこし協力隊員に須藤佳奈氏を任命

10月12日 令和元年東日本台風(台風19号)が長野県に最接近、芦田で日降水量264㎜(観測史上最高)を記録
 2020【令和2年】

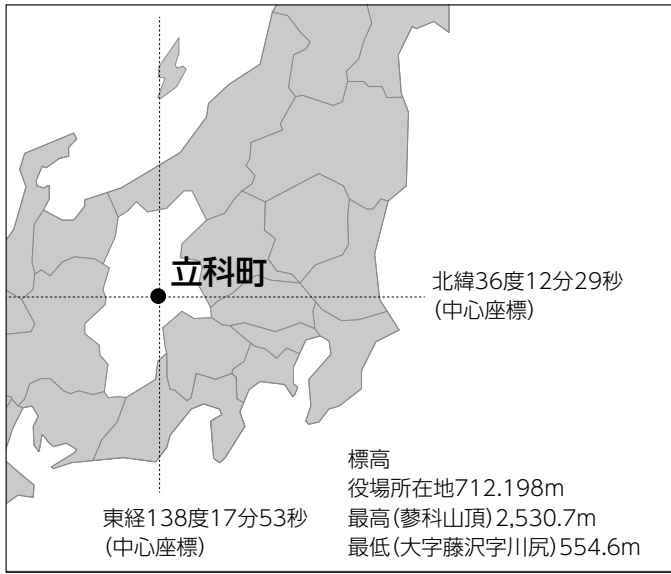
2月10日 「権現の湯」の入館者が450万人を達成
 2月26日 立科町新型コロナウイルス感染症対策本部を任意設置
 3月4日 立科しあわせプラン、第5次立科町基本計画、後期基本計画策定
 4月7日 緊急事態宣言が発令される
 立科町新型コロナウイルス感染症対策本部を法定設置

5月26日 緊急事態宣言が解除される
 立科町新型コロナウイルス感染症対策本部を任意設置
 6月1日 立科町地域おこし協力隊員に永田賢一郎氏を任命
 6月20日 農業委員改選 会長に今井巻男氏就任
 7月20日 立科町索道事業の指定管理者を檜山スノーテック株式会社に決定
 7月28日 立科町総合防災訓練 新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して開催
 9月6日 合併65周年記念式典

立科町の概要

位置

立科町は、長野県の東部に位置し、東は佐久市、西は小県郡長和町、南は茅野市、北は東御市と上田市に接し、南北26・4 km、東西9・9 kmと南北に細長く、一番狭いところは幅53・3 m、面積は66・87 km²です。八ヶ岳連峰の北山麓に広がり、雄大な蓼科山をはじめとする豊かな自然環境に恵まれた観光と農業の町で、南部は蓼科山麓の高原地帯で、女神湖・白樺湖・蓼科牧場を有する一大リゾート地、北部は山麓から田園地帯へと広がる山麓の大地で、稲作を中心として、りんご・高原野菜・畜産などの農業が盛んです。



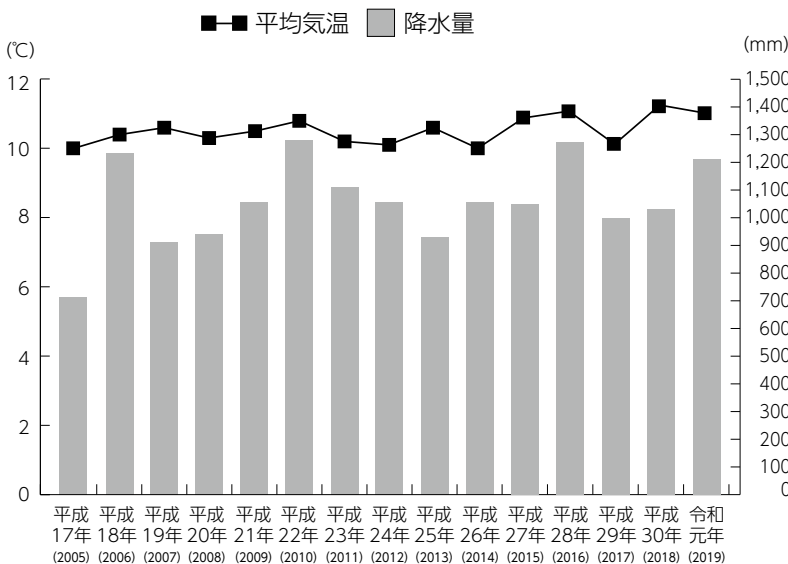
名称の由来

芦田村、横鳥村及び三都和村の三村は蓼科山麓に発達した地方であり、関係村で組織する連合体にすべて「蓼科」の名を冠して住民の感情の融和を図っていました。また、三カ村組合立蓼科高等学校があったことから、住民のほとんどが新村名「蓼科村」は既定のことと認めていました。しかし、当用漢字に「蓼」の字がないことと、蓼科山は古代立科山と呼ばれていたことから「立科村」に異議なく決定されました。その後「立科町」となりました。

合併の経緯

- 〔昭和30年（1955年）4月1日〕
芦田村、横鳥村、三都和村の三村が合併し、立科村が発足
- 〔昭和31年（1956年）7月1日〕
池ノ平地区境界変更、立科村より1・02 km茅野へ分村
- 〔昭和33年（1958年）10月1日〕
町制施行され、立科町となる
- 〔昭和35年（1960年）4月15日〕
望月町茂田井の大部分、3・34 kmが立科町に境界変更

気象



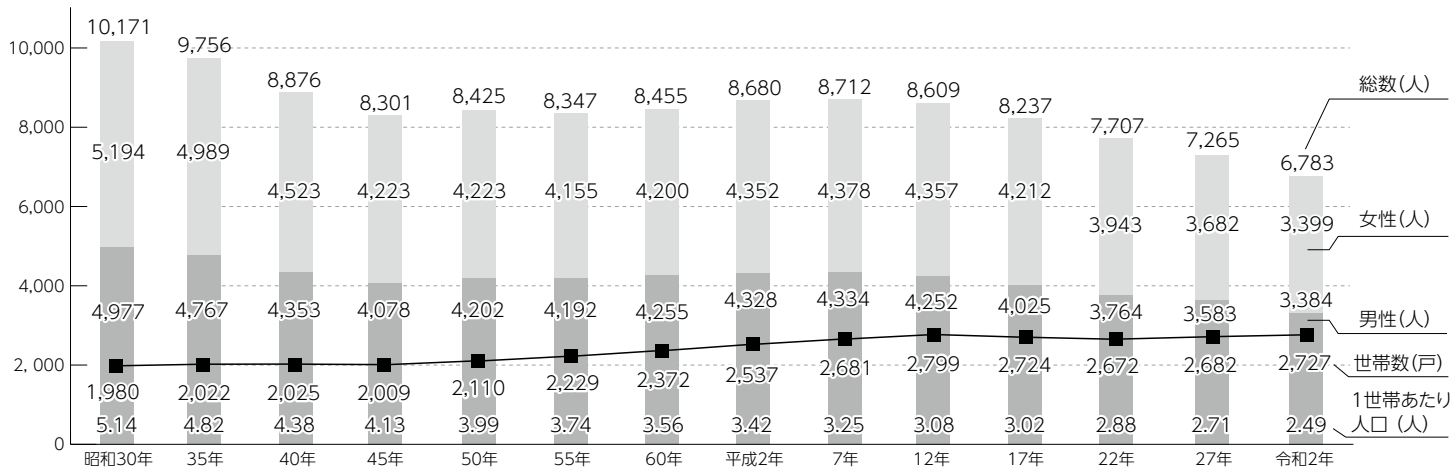
| 和暦(西暦) | 最高気温 | 最低気温 | 日照時間 |
|-------------|------|-------|--------|
| 平成17年(2005) | 33.6 | -17.9 | 2106.6 |
| 平成18年(2006) | 34.2 | -15.0 | 1904.7 |
| 平成19年(2007) | 33.9 | -13.7 | 2074.1 |
| 平成20年(2008) | 33.7 | -15.5 | 1988.1 |
| 平成21年(2009) | 32.6 | -15.1 | 1992.6 |
| 平成22年(2010) | 34.6 | -14.6 | 2077.3 |
| 平成23年(2011) | 34.3 | -16.5 | 2192.6 |
| 平成24年(2012) | 34.4 | -19.5 | 2165.7 |
| 平成25年(2013) | 35.5 | -16.9 | 2366.7 |
| 平成26年(2014) | 34.9 | -15.8 | 2214.2 |
| 平成27年(2015) | 34.8 | -16.5 | 2115.2 |
| 平成28年(2016) | 34.1 | -18.1 | 2126.3 |
| 平成29年(2017) | 33.7 | -18.0 | 2227.2 |
| 平成30年(2018) | 35.4 | -14.6 | 2369.6 |
| 令和元年(2019) | 35.6 | -14.9 | 2146.2 |

※気象庁「過去の気象データ」より

気候は四季の変化に富み、昼夜の温度差と季節の温度差が大きく、年間の平均気温は約10℃。夏は涼しく過ごしやすく、冬の寒気は厳しく、氷点下に達する日も珍しくありませんが、晴天日数が多く、日照時間の長さは全国トップレベル。年間降水量は約1000mmと全国的にも雨が少なく、地域全体としては総じて過ごしやすい気候となっています。

人口

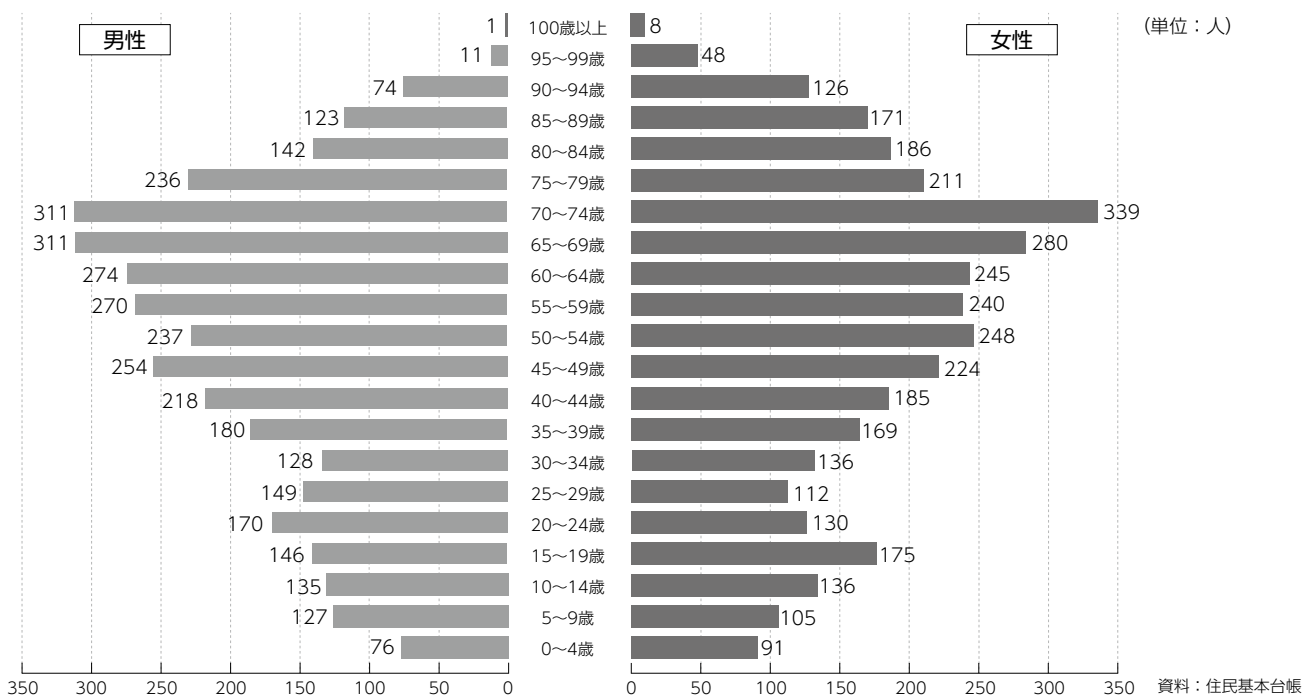
人口及び世帯数



資料：国勢調査、令和2年は長野県毎月人口異動調査結果(4月1日)長野県発表

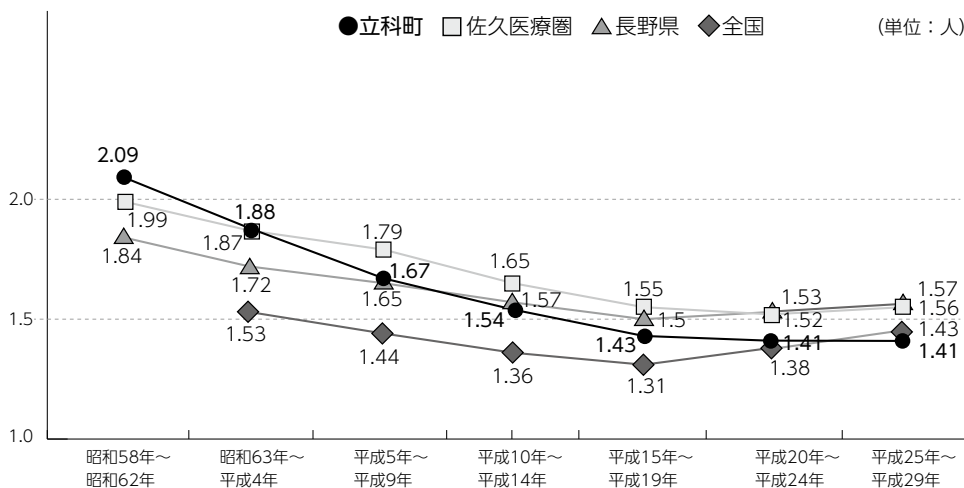
年齢階層別人口

令和2年4月1日現在



資料：住民基本台帳

合計特殊出生率



| 年 | 出生数(単位:人) |
|-------|-----------|
| 昭和30年 | 175 |
| 昭和35年 | 159 |
| 昭和40年 | 105 |
| 昭和45年 | 98 |
| 昭和50年 | 95 |
| 昭和55年 | 101 |
| 昭和60年 | 92 |
| 平成2年 | 84 |
| 平成7年 | 62 |
| 平成12年 | 72 |
| 平成17年 | 52 |
| 平成22年 | 36 |
| 平成27年 | 26 |
| 平成28年 | 42 |
| 平成29年 | 26 |
| 平成30年 | 33 |
| 令和元年 | 27 |

資料：人口動態統計
令和元年は住民基本台帳年報報告数値
(令和2年1月1日現在)

保 健

国民健康保険給付状況

(単位:千円)

| 年 度 | 世帯数 | 被保険者数 | 医療給付(一般+退職) | | | 医療給付(老人) | | |
|-------|-------|-------|-------------|---------|---------|----------|---------|---------|
| | | | 件 数 | 費用額 | 給付額 | 件 数 | 費用額 | 給付額 |
| 昭和50年 | 1,498 | 4,708 | 27,235 | 247,248 | 172,676 | 5,472 | 83,103 | 58,172 |
| 昭和60年 | 1,333 | 3,684 | 20,237 | 293,678 | 208,040 | 6,492 | 152,604 | 14,948 |
| 平成2年 | 1,335 | 3,334 | 20,156 | 328,814 | 233,406 | 9,925 | 334,326 | 323,090 |
| 平成7年 | 1,302 | 3,025 | 18,284 | 371,293 | 268,594 | 12,519 | 402,837 | 381,382 |
| 平成12年 | 1,477 | 3,201 | 21,123 | 416,473 | 296,021 | 20,258 | 626,057 | 576,456 |
| 平成17年 | 1,657 | 3,454 | 30,631 | 524,525 | 387,457 | 25,895 | 639,692 | 570,869 |
| 平成22年 | 1,273 | 2,361 | 32,477 | 610,887 | 446,800 | - | - | - |
| 平成27年 | 1,227 | 2,177 | 34,220 | 766,114 | 557,958 | - | - | - |
| 令和元年 | 1,138 | 1,885 | 31,547 | 649,351 | 475,098 | - | - | - |

| 年 度 | 高額療養費 | | 助産費 | | 埋葬費 | | 育児手当 | |
|-------|-------|--------|-----|-------|-----|-------|------|-----|
| | 件 数 | 給付額 | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 |
| 昭和50年 | 404 | 12,518 | 36 | 1,200 | 52 | 156 | 35 | 105 |
| 昭和60年 | 312 | 22,508 | 24 | 2,430 | 38 | 494 | 22 | 65 |
| 平成2年 | 645 | 26,631 | 18 | 2,430 | 41 | 595 | 6 | 18 |
| 平成7年 | 330 | 25,905 | 7 | 2,100 | 47 | 776 | - | - |
| 平成12年 | 362 | 31,318 | 14 | 4,200 | 48 | 864 | - | - |
| 平成17年 | 475 | 31,875 | 8 | 2,400 | 68 | 1,292 | - | - |
| 平成22年 | 1,252 | 41,816 | 5 | 2,100 | 16 | 360 | - | - |
| 平成27年 | 1,283 | 80,202 | 2 | 840 | 11 | 255 | - | - |
| 令和元年 | 1,318 | 65,650 | 2 | 840 | 13 | 650 | - | - |

※平成3年度より助産費と育児手当が一緒になり出産育児一時金となる。
※平成20年度より後期高齢者医療制度へ移行

一人当り医療給付費

(単位:円)

| 年 度 | 一般+退職 | 老 人 |
|-------|---------|---------|
| 昭和50年 | 59,136 | 157,690 |
| 昭和60年 | 94,826 | 259,974 |
| 平成2年 | 125,645 | 466,284 |
| 平成7年 | 167,324 | 499,798 |
| 平成12年 | 194,160 | 592,857 |

(単位:円)

| 年 度 | 一般+退職 | 老 人 |
|-------|---------|---------|
| 平成17年 | 218,643 | 606,324 |
| 平成22年 | 258,740 | - |
| 平成27年 | 351,913 | - |
| 令和元年 | 344,483 | - |

※平成20年度より後期高齢者医療制度へ移行

各種検診受診状況

(単位:人)

| 年 度 | 検 診 名 | | | | | | | | |
|-------|---|---------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|--------------|--------|----------|-------|
| | 平成20年まで 結核(肺ガン) 18歳以上(平成17年 から40歳以上) | 平成21年から 肺ガンCT 40歳以上 | 結核 65歳以上 ※平成19年まで 結核肺がん検診 | 胃がん 50歳以上 ※平成27年まで 30歳以上 | 大腸がん 40歳以上 ※平成23年まで 30歳以上 | 成人病 30歳以上 | 特定健診 | | |
| | | | | | | | 30~39歳 | 40~74歳国保 | 75歳以上 |
| 昭和60年 | 2,514 | | | 758 | | 1,134 | | | |
| 平成2年 | 2,708 | | | 722 | 573 | 1,414 | | | |
| 平成7年 | 2,708 | | | 653 | 724 | 1,376 | | | |
| 平成12年 | 2,417 | | | 458 | 559 | 1,243 | | | |
| 平成17年 | 1,678 | | | 296 | 473 | 936 | | | |
| 平成22年 | | 343 | 828 | 279 | 535 | | 42 | 477 | 117 |
| 平成27年 | | 381 | 744 | 300 | 639 | | 51 | 545 | 259 |
| 令和元年 | | 398 | 635 | 88 | 676 | | 40 | 547 | 248 |

※特定検診は会計処理実績

| 年 度 | 検 診 名 | | | |
|-------|--|---------------|----------------------|--------------------------|
| | 子宮がん ※ 20歳以上偶数年齢 (平成16年までは30歳以上) | 乳がん検診 | | |
| | | 超音波 30~39歳 | マンモグラフィ 40歳以上偶数年齢 | 乳がん 30歳以上 ※平成16年まで |
| 昭和60年 | 316 | | | 283 |
| 平成2年 | 372 | | | 381 |
| 平成7年 | 384 | | | 360 |
| 平成12年 | 297 | | | 311 |
| 平成17年 | 121 | 9 | 101 | |
| 平成22年 | 213 | 55 | 179 | |
| 平成27年 | 174 | 35 | 137 | |
| 令和元年 | 162 | 56 | 118 | |

※平成21年度からは、女性特有のがん検診を含んだ数値

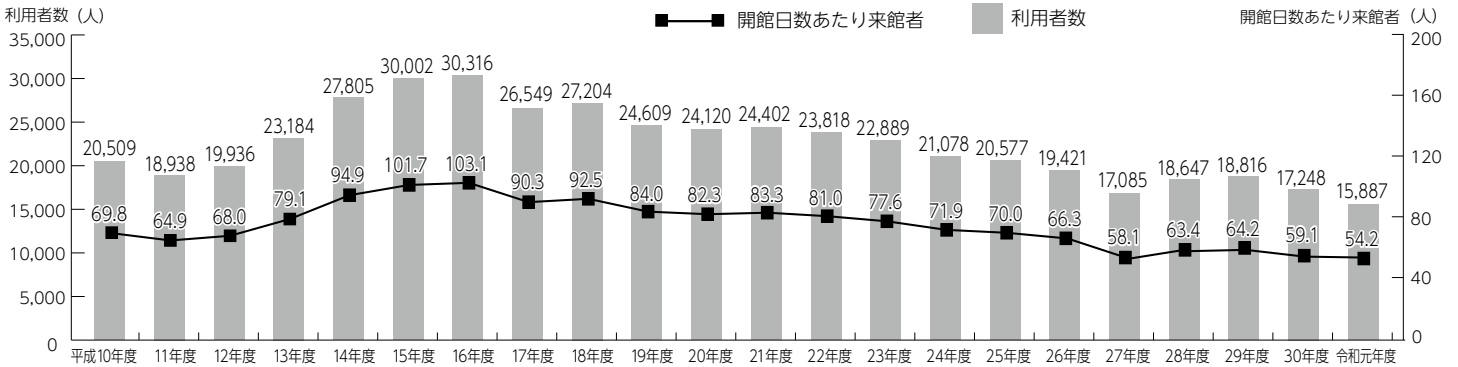
保育所入所者数

(単位:人)

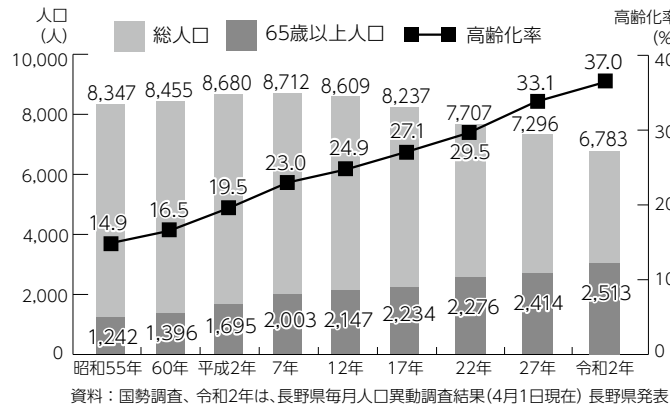
| 年度 | 千草保育園 | | 若草保育園 | | 三葉保育園 | | 茂田井保育園 | |
|---------|-------|------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 定員 | 入所者数 | 定員 | 入所者数 | 定員 | 入所者数 | 定員 | 入所者数 |
| 昭和50年 | 100 | 100 | 90 | 80 | 60 | 53 | 52 | 41 |
| 昭和60年 | 120 | 107 | 90 | 90 | 80 | 65 | 40 | 33 |
| 平成2年 | 115 | 100 | 90 | 84 | 80 | 76 | 40 | 24 |
| 平成7年 | 115 | 92 | 110 | 78 | 60 | 50 | 40 | 26 |
| 平成12年 | 115 | 96 | 60 | 61 | 45 | 35 | 40 | 33 |
| 平成17年 | 115 | 72 | 80 | 62 | 45 | 50 | 40 | 18 |
| 平成22年 | 95 | 67 | 55 | 45 | 55 | 43 | | |
| たてしな保育園 | | | | | | | | |
| | 定員 | | | | 入所者数 | | | |
| 平成25年 | 200 | | | | 162 | | | |
| 平成27年 | 200 | | | | 163 | | | |
| 令和2年 | 200 | | | | 161 | | | |

資料：福祉行政報告例
*茂田井保育園は、平成18年3月に閉園

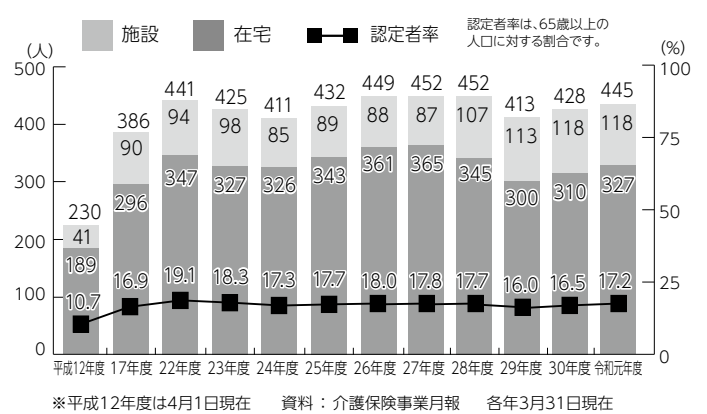
児童館開館日数・利用者数



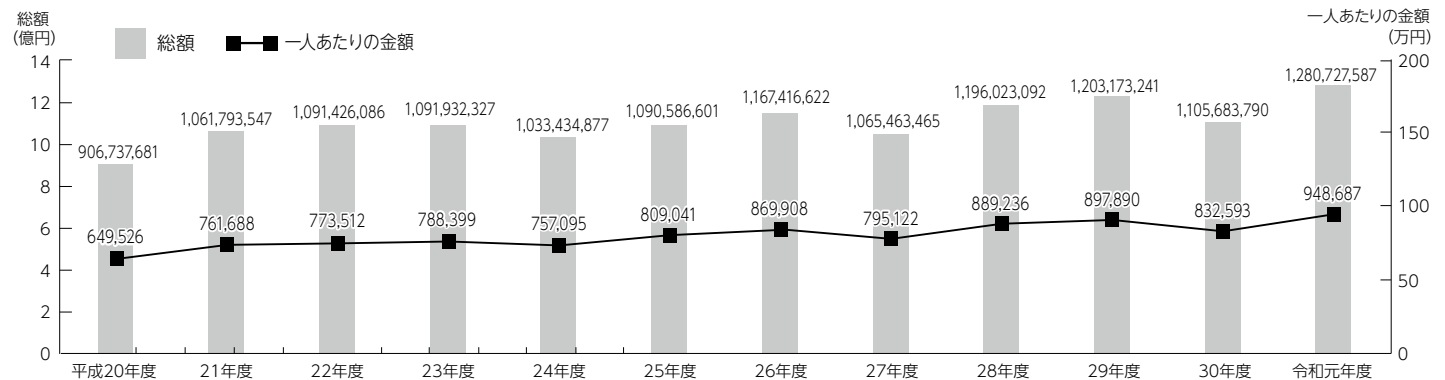
高齢者人口と高齢化率



在宅・施設別要介護認定者数



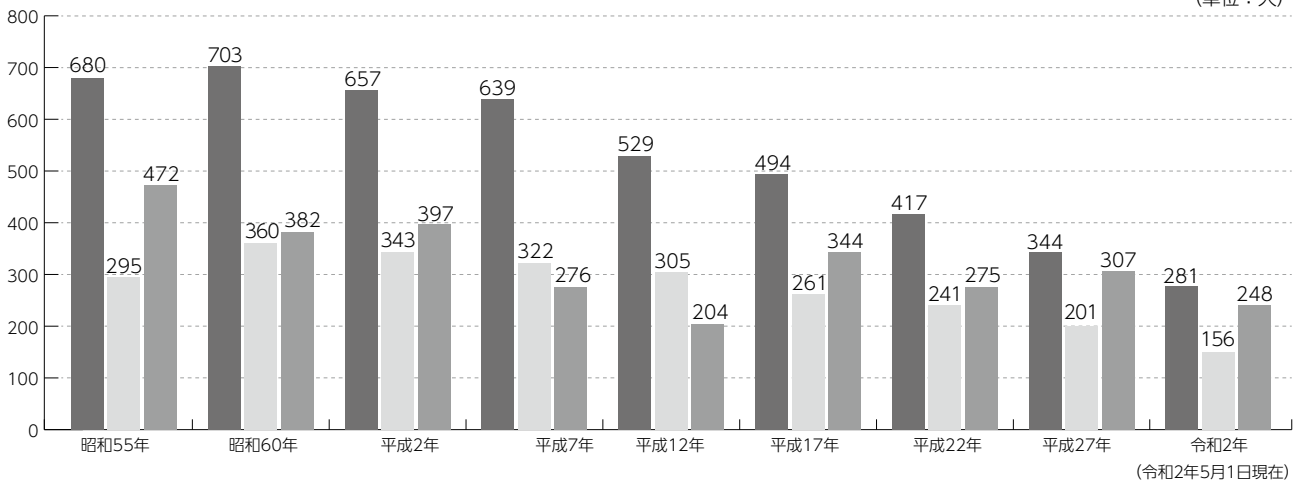
後期高齢者医療制度(75歳以上)総医療費の推移



教育・文化

児童・生徒数

立科小学校 立科中学校 蓼科高等学校
(単位：人)



文化財

| 指定 | 種別 | 名称 | 所在地 | 指定年月日 |
|-------|--------|-----------------------|-----------|------------|
| 長野県 | 天然記念物 | 笠取峠のマツ並木 | 町 | 昭和49年1月17日 |
| | 県宝 | 津金寺宝塔 | 上房 | 昭和49年3月22日 |
| | 県宝 | 旧芦田宿本陣土屋家住宅 | 町 | 昭和63年8月18日 |
| 立科町 | 天然記念物 | ヒメツルコケモモ | 蓼科 | 昭和41年7月15日 |
| | 天然記念物 | 神代杉 | 古町 | 昭和42年6月17日 |
| | 史跡 | 与惣塚 | 蓼科 | 昭和42年6月17日 |
| | 史跡 | 芦田城跡 | 古町 | 昭和42年6月17日 |
| | 史跡 | 一里塚 | 町 | 昭和42年6月17日 |
| | 史跡 | 鳴石 | 蓼科 | 昭和42年6月17日 |
| | 天然記念物 | ミヤマシロチョウ | 蓼科 | 昭和53年5月10日 |
| | 史跡 | 宇山堰石樋 | 蓼科 | 昭和58年6月1日 |
| | 有形民俗資料 | 古町区蓼科神社秋祭用奉納屋台及び雅楽器一式 | 古町 | 平成2年12月10日 |
| | 有形文化財 | 津金寺妙見堂 | 上房 | 平成4年6月11日 |
| | 有形文化財 | 津金寺観音堂 | 上房 | 平成4年6月11日 |
| 天然記念物 | 天狗松 | 中尾 | 平成5年12月8日 | |

公民館図書室利用状況

(単位：人)

| 項目 | 年度 | 平成2年度 | 平成7年度 | 平成12年度 | 平成17年度 | 平成22年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|--------|----------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 開室日数 | | 288 | 291 | 348 | 353 | 318 | 350 | 354 | 337 | 355 | 355 |
| 来室数(人) | 児童 | 6,385 | 5,267 | 5,251 | 3,990 | 2,779 | 2,593 | 2,675 | 1,905 | 2,429 | 1,819 |
| | 一般 | 1,668 | 1,425 | 2,247 | 3,082 | 3,010 | 3,805 | 3,519 | 3,211 | 3,342 | 3,313 |
| | 計 | 8,053 | 6,692 | 7,498 | 7,072 | 5,789 | 6,398 | 6,194 | 5,116 | 5,771 | 5,132 |
| | 一日平均来室者数 | 28 | 23 | 22 | 20 | 18 | 18 | 17 | 15 | 16 | 14 |
| 貸出数(冊) | 児童 | 2,332 | 1,354 | 2,342 | 3,247 | 5,086 | 5,431 | 4,415 | 3,967 | 4,199 | 2,969 |
| | 一般 | 2,224 | 1,871 | 3,057 | 3,191 | 4,528 | 4,742 | 4,849 | 4,587 | 4,224 | 4,496 |
| | 計 | 4,556 | 3,225 | 5,399 | 6,438 | 9,614 | 10,173 | 9,264 | 8,554 | 8,423 | 7,465 |
| | 一日平均貸出数 | 16 | 11 | 16 | 18 | 30 | 29 | 26 | 25 | 24 | 21 |

※平成22年度は9月休館(図書システム導入)
 ※平成22年度 貸出冊数2冊から4冊へ
 ※平成29年度は11月休館あり(図書システム更新)

建設

国・県道の概況

平成31年4月1日現在

| 道路区分 | | 路線名 | 実延長(m) | 改良済み延長(m) | 改良率(%) | 歩道延長(m) |
|------|-------|--------------|----------|-----------|----------|----------|
| 国 道 | 一般国道 | 142号 | 4,940.8 | 4,940.8 | 100.0 | 3,859.3 |
| | | 254号 | 2,911.1 | 2,047.5 | 70.3 | 677.3 |
| | 小 計 | | 7,851.9 | 6,988.3 | 89.0 | 4,536.6 |
| 県 道 | 主要地方道 | 諏訪白樺湖小諸線 | 32,710.7 | 32,065.8 | 98.0 | 14,938.3 |
| | 一般県道 | 芦田大屋(停)線 | 6,745.8 | 6,234.0 | 92.4 | 4,330.4 |
| | | 牛鹿望月線 | 4,689.2 | 2,781.3 | 59.3 | 1,585.6 |
| | | 雨境望月線 | 132.5 | 126.8 | 95.7 | 0.0 |
| | | 立科小諸線 | 2,227.7 | 1,739.2 | 78.1 | 0.0 |
| | | 丸子北御牧東部線 | 1,355.3 | 1,061.4 | 78.3 | 0.0 |
| | | 茅野(停)八子ヶ峰公園線 | 4,218.4 | 4,218.4 | 100.0 | 0.0 |
| 小 計 | | 52,079.6 | 48,226.9 | 92.6 | 20,854.3 | |
| 合 計 | | 59,931.5 | 55,215.2 | 92.1 | 25,390.9 | |

資料：道路現況(長野県建設部)

町道の級別概況

令和2年3月23日現在

| 種 別 | 路線数 | 実延長(m) | 改良済延長(m) | 改良率(%) | 舗装済延長(m) | 舗装率(%) | 歩道延長(m) |
|-----|-----|-----------|-----------|--------|-----------|--------|----------|
| 1級 | 65 | 75,605.1 | 64,017.4 | 84.7 | 75,444.4 | 99.8 | 11,421.5 |
| 2級 | 66 | 39,801.9 | 12,412.9 | 31.2 | 37,108.2 | 93.2 | 798.3 |
| 3級 | 108 | 66,057.3 | 23,605.1 | 35.7 | 56,704.6 | 85.8 | 187.6 |
| 級外 | 392 | 138,617.1 | 18,582.1 | 13.4 | 92,591.6 | 66.8 | 245.2 |
| 計 | 631 | 320,081.4 | 118,617.5 | 37.1 | 261,848.8 | 81.8 | 12,652.6 |

橋梁の概況

国道・県道は平成31年3月31日現在、町道は令和2年3月31日現在

| 種 類 | 国 道 | | | 県 道 | | | 町 道 | | |
|-----|-----|-------|---------------------|-----|-------|---------------------|-----|-------|---------------------|
| | 数 | 延長(m) | 面積(m ²) | 数 | 延長(m) | 面積(m ²) | 数 | 延長(m) | 面積(m ²) |
| 永久橋 | 2 | 38.2 | 496.6 | 15 | 96.2 | 949.4 | 69 | 514.7 | 2242.1 |

河川の現況

令和2年3月31日現在

| 種 類 | 数 | 延長(m) | 河 川 名 |
|--------|----|--------|---------------------------|
| 一級河川 | 3 | 30,568 | 芦田川、番屋川、赤沢川 |
| 砂防指定河川 | 2 | 5,500 | 小桶沢川、西の沢川 |
| 準用河川 | 5 | 7,967 | 蟹原川、牛鹿川、植木沢川、赤沢川上流部分、小桶沢川 |
| 普通河川 | 20 | 14,715 | 宮沢川ほか |

水道の現況

平成31年3月31日現在

| 種別 | 上水道 | 姥・中尾簡易水道 | 夢の平簡易水道 | 白樺簡易水道 | 計 |
|-----------------------------|---------|----------|---------|--------|-----------|
| 計画給水人口(人) | 11,900 | 105 | 500 | 300 | 12,805 |
| 給水世帯数(戸) | 2,471 | 23 | 131 | 81 | 2,706 |
| 現在給水人口(人) | 6,626 | 53 | 238 | 152 | 7,069 |
| 配水池有効容量(m ³) | 3,782 | 230 | 6,154 | 1,763 | 11,929 |
| 年間給水量(m ³) | 815,897 | 37,819 | 514,279 | 86,749 | 1,454,744 |
| 年間有収水量(m ³) | 724,817 | 11,118 | 161,135 | 56,916 | 953,986 |
| 日最大計画給水量(m ³ /日) | 5,785 | 227 | 4,600 | 1,400 | 12,012 |

下水道等整備状況

令和2年4月1日現在

| 人口 | 下水道処理人口 7,138人 | | | |
|--------------|--------------------|----------|-------------|-------------|
| 整備状況 | 整備率 98.6% (7,037人) | | | |
| 事業別 | 特定環境保全公共下水道 | 農業集落排水事業 | コミュニティ・プラント | その他(合併浄化槽含) |
| 人口(人)※外国人を含む | 3,338 | 3,149 | 206 | 344 |
| 比率(%) | 47.4 | 44.7 | 2.9 | 5.0 |

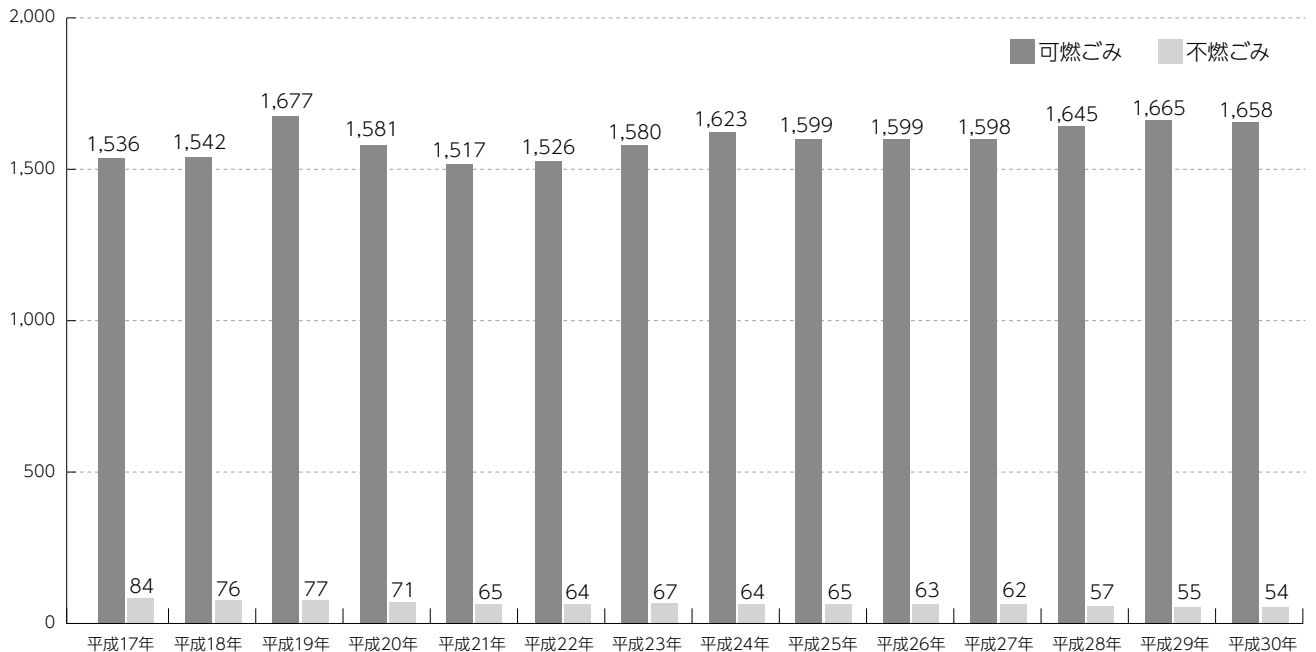
汚水人口普及率の推移

(単位：%)

| | |
|--------|------|
| 平成7年度 | 27.0 |
| 平成12年度 | 91.8 |
| 平成17年度 | 96.3 |
| 平成22年度 | 97.7 |
| 平成27年度 | 98.3 |
| 令和元年度 | 98.5 |

川西清掃センターへの可燃ごみ・不燃ごみ搬入量

(単位：t)



資料：一般廃棄物処理実態調査(環境省)

産 業

耕地面積

単位：ヘクタール

| 年度 | 統計 | 田 | 畑 | | | | | 合計 |
|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| | | | 果樹園 | 桑園 | たばこ | 飼料畑 | 普通畑他 | |
| 昭和50年 | 1,631 | 860 | 131 | 251 | 36 | 93 | 260 | 771 |
| 昭和55年 | 1,609 | 858 | 115 | 152 | 48 | 110 | 326 | 751 |
| 昭和60年 | 1,564 | 841 | 125 | 64 | 31 | 108 | 395 | 723 |
| 平成2年 | 1,504 | 828 | 159 | 17 | 14 | 112 | 374 | 676 |
| 平成7年 | 1,460 | 814 | 158 | 14 | 10 | 64 | 398 | 643 |
| 平成12年 | 1,360 | 771 | 149 | 1 | 5 | 58 | 366 | 585 |
| 平成16年 | 1,360 | 758 | 150 | - | - | 58 | 365 | 573 |
| 平成21年 | 1,320 | 742 | - | - | - | - | - | 574 |
| 平成25年 | 1,330 | 753 | - | - | - | - | - | 599 |
| 平成28年 | 1,310 | 723 | - | - | - | - | - | 583 |

※長野県農林業市町村別データの数値を活用

平成7年以降は畦畔を含む数値

長野農林統計協会の解散により平成21年以降は畑の内訳数値なし

平成21年以降は長野農林水産統計年報の数値を活用

森林面積

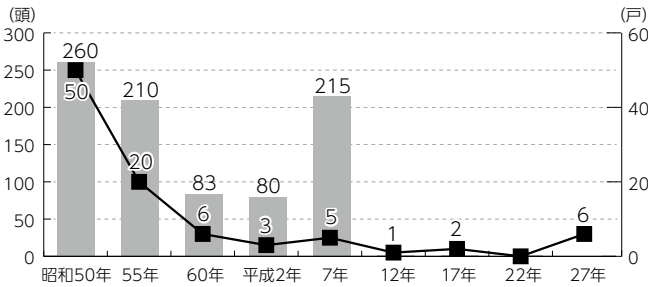
| 地域総面積 | | 6,687.00ha | |
|-------|-----|-----------------------|------------|
| 森林面積 | 国有林 | 485.01ha | |
| | 民間林 | 公有林 | 2,413.96ha |
| | | 私有林 | 954.73ha |
| | 合計 | 3,853.70ha | |
| 材 積 | 国有林 | 86,670m ³ | |
| | 民間林 | 701,871m ³ | |
| | 合計 | 788,541m ³ | |

資料：令和元年長野県国有林の現況 市町村別統計(9月1日)

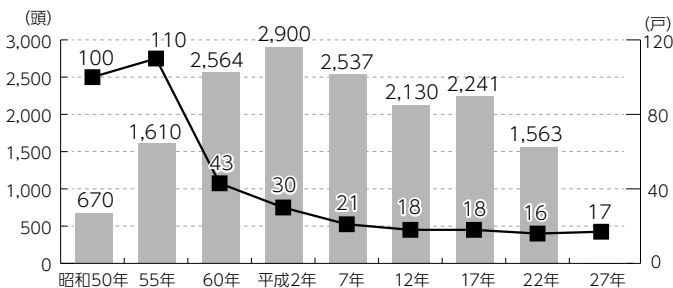
畜産の推移

■ 頭数 ■ 戸数

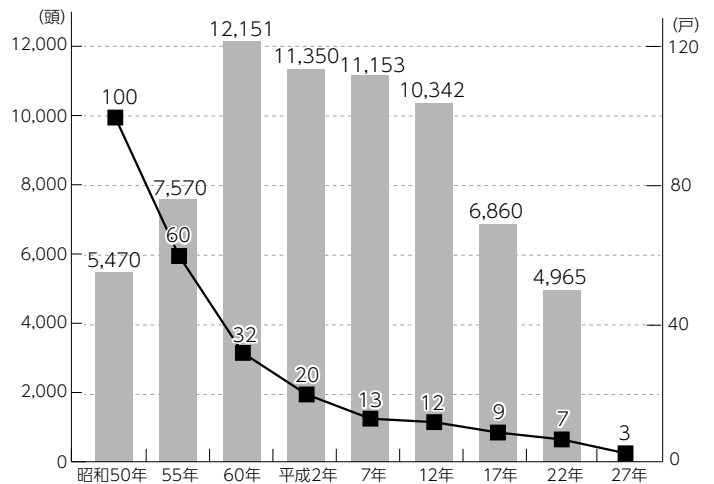
【乳用牛】



【肉用牛】



【豚】



資料：農林業センサス ※頭数が表示されていない年は非公表

産 業

産業大分類別事業所数

(単位：所)

| 年 度 | 農林 漁業 | 鉱 業 | 建設業 | 製造業 | 電気ガス 熱供給・ 水道 | 運輸 通信業 | | 卸売 小売業 飲食店 | 金融 保険業 | 不動 産業 | サービス業 | | | | | 他の分類に 属さないもの |
|-------|----------|-----|-----|-----|--------------------|-----------|-----|------------------|-----------|----------|------------|----------|------------|------------|-----------|-----------------|
| | | | | | | 情報 通信 | 運輸 | | | | 飲食店 宿泊業 | 医療 福祉 | 教育 学習支援 | 複合 サービス | サービス 業 | |
| 昭和50年 | 0 | 0 | 52 | 46 | 1 | 5 | 132 | 2 | 1 | 90 | | | | | 5 | |
| 昭和53年 | 6 | 2 | 71 | 57 | 1 | 11 | 143 | 3 | 0 | 104 | | | | | 5 | |
| 昭和56年 | 6 | 2 | 79 | 62 | 1 | 9 | 147 | 4 | 0 | 101 | | | | | 5 | |
| 昭和61年 | 6 | 4 | 77 | 63 | 0 | 3 | 134 | 3 | 1 | 113 | | | | | 5 | |
| 平成3年 | 6 | 1 | 65 | 52 | 0 | 6 | 119 | 1 | 6 | 166 | | | | | 5 | |
| 平成8年 | 8 | 1 | 69 | 46 | 1 | 11 | 119 | 3 | 7 | 171 | | | | | 6 | |
| 平成12年 | 9 | 1 | 83 | 52 | 2 | 13 | 145 | 6 | 7 | 189 | | | | | 10 | |
| 平成18年 | 10 | 0 | 72 | 50 | 1 | 4 | 7 | 95 | 3 | 8 | 107 | 16 | 17 | 6 | 63 | 8 |
| 平成21年 | 14 | 0 | 70 | 48 | 0 | 5 | 6 | 95 | 4 | 9 | 104 | 12 | 12 | 6 | 42 | 18 |
| 平成24年 | 11 | 1 | 63 | 47 | 0 | 5 | 7 | 72 | 5 | 6 | 94 | 13 | 11 | 5 | 36 | 16 |
| 平成28年 | 11 | 0 | 52 | 44 | 0 | 3 | 8 | 67 | 4 | 5 | 87 | 16 | 10 | 5 | 21 | 18 |

資料：事業所・企業統計調査(昭和50年度～平成18年度)、経済センサス(平成21年度以降)

産業別就業者数(15歳以上)

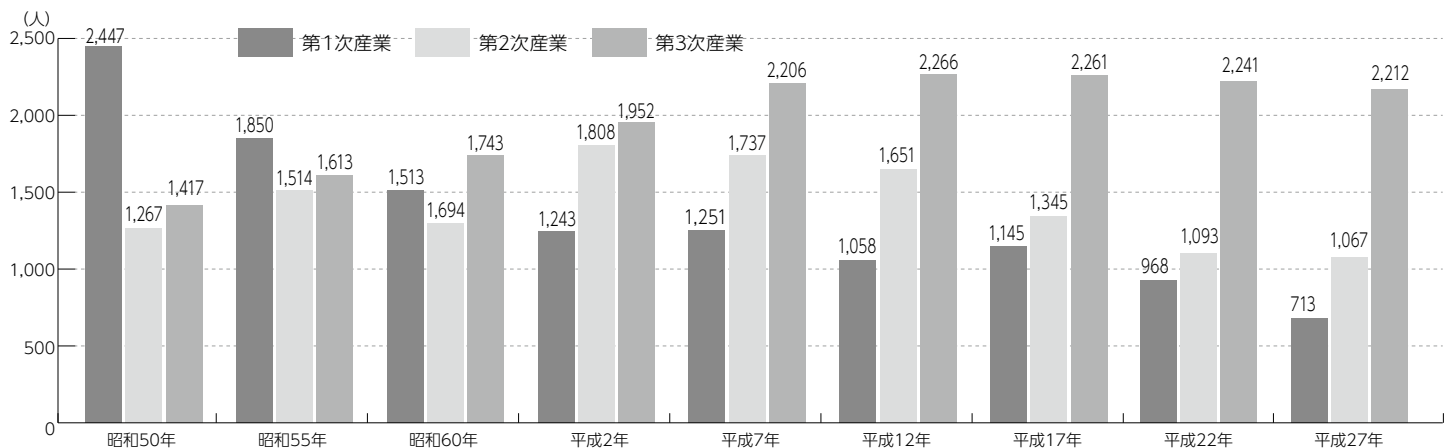
(単位：人)

| 年 度 | 第1次産業 | | | | 第2次産業 | | | |
|-------|-------|----|----|-------|-------|-----|-------|-------|
| | 農業 | 林業 | 漁業 | 計 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 計 |
| 昭和50年 | 2,440 | 5 | 2 | 2,447 | 2 | 304 | 961 | 1,267 |
| 昭和55年 | 1,843 | 4 | 3 | 1,850 | 3 | 376 | 1,135 | 1,514 |
| 昭和60年 | 1,504 | 9 | 0 | 1,513 | 1 | 396 | 1,297 | 1,694 |
| 平成2年 | 1,226 | 14 | 3 | 1,243 | 2 | 464 | 1,342 | 1,808 |
| 平成7年 | 1,235 | 13 | 3 | 1,251 | 3 | 550 | 1,184 | 1,737 |
| 平成12年 | 1,041 | 16 | 1 | 1,058 | 3 | 485 | 1,163 | 1,651 |
| 平成17年 | 1,130 | 15 | 0 | 1,145 | 2 | 307 | 1,036 | 1,345 |
| 平成22年 | 953 | 15 | 0 | 968 | 3 | 261 | 829 | 1,093 |
| 平成27年 | 696 | 15 | 2 | 713 | 2 | 259 | 806 | 1,067 |

(単位：人)

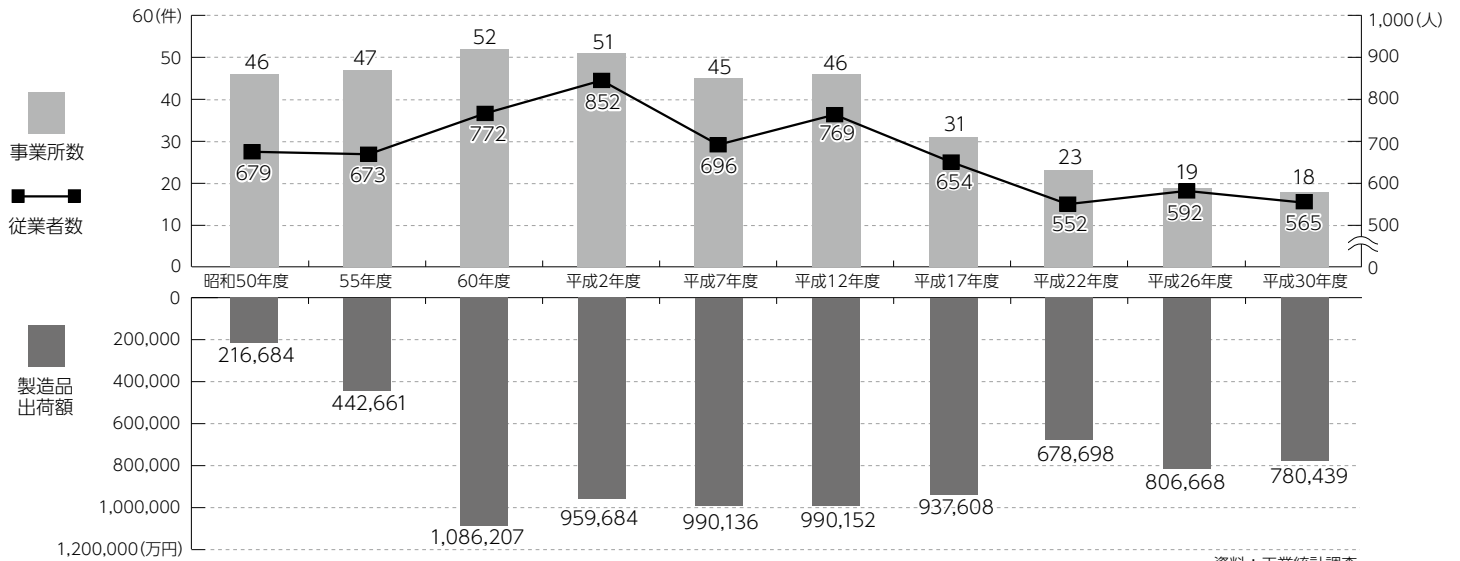
| 年 度 | 第3次産業 | | | | | | | | | | | 計 | |
|-------|----------------|--------|-----|---------------|-----------|-------|-------|-----|-----|----|-----|-----|-----------------|
| | 電気ガス 熱供給・水道 | 運輸・通信業 | | 卸売・小売 業飲食店 | 金融 保険業 | 不動産業 | サービス業 | | | | | | 他の分類に 属さないもの |
| 昭和50年 | 4 | 99 | 448 | 26 | 10 | 671 | | | | | | 159 | 1,417 |
| 昭和55年 | 4 | 124 | 507 | 30 | 11 | 788 | | | | | | 149 | 1,613 |
| 昭和60年 | 10 | 134 | 455 | 32 | 17 | 970 | | | | | | 125 | 1,743 |
| 平成2年 | 10 | 143 | 444 | 33 | 18 | 1,179 | | | | | | 125 | 1,952 |
| 平成7年 | 17 | 157 | 527 | 32 | 37 | 1,323 | | | | | | 113 | 2,206 |
| 平成12年 | 13 | 165 | 589 | 42 | 28 | 1,313 | | | | | | 116 | 2,266 |
| 平成17年 | 9 | 27 | 114 | 519 | 34 | 15 | 426 | 332 | 128 | 99 | 441 | 117 | 2,261 |
| 平成22年 | 5 | 28 | 125 | 490 | 28 | 41 | 460 | 373 | 135 | 85 | 205 | 266 | 2,241 |
| 平成27年 | 5 | 30 | 113 | 426 | 28 | 39 | 463 | 418 | 122 | 89 | 202 | 277 | 2,212 |

資料：国勢調査



産業

工業の概況



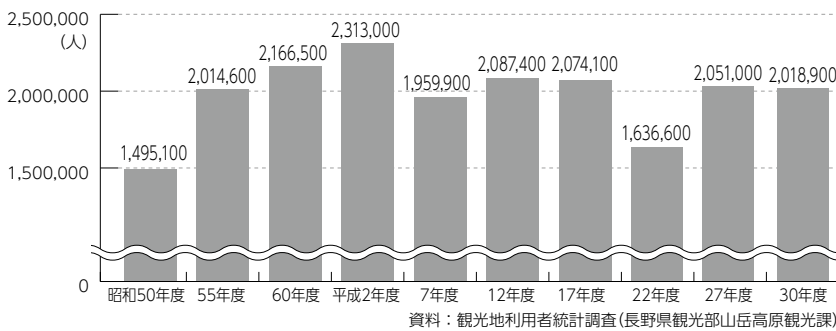
卸売業・小売業 事業所数・従業者数・年間商品販売額

(単位：店・人・万円)

| 年度 | 合計 | | | 卸売業 | | | 小売業 | | | 飲食業 | | |
|-----------|------|------|---------|------|------|---------|------|------|---------|------|------|---------|
| | 事業所数 | 従業者数 | 年間商品販売額 | 事業所数 | 従業者数 | 年間商品販売額 | 事業所数 | 従業者数 | 年間商品販売額 | 事業所数 | 従業者数 | 年間商品販売額 |
| 昭和60・61年 | 136 | 336 | 566,636 | 3 | 13 | 29,500 | 103 | 246 | 506,727 | 30 | 77 | 30,409 |
| 昭和63・平成元年 | 126 | 325 | 470,979 | 3 | 21 | 43,820 | 92 | 229 | 391,204 | 31 | 75 | 35,955 |
| 平成3・4年 | 121 | 352 | 748,678 | 3 | 26 | 232,880 | 90 | 251 | 465,739 | 28 | 75 | 50,059 |
| 平成6年 | 91 | 318 | 889,715 | 4 | 27 | 327,720 | 87 | 291 | 561,995 | - | - | - |
| 平成9年 | 82 | 280 | 735,617 | 3 | 18 | 239,449 | 79 | 262 | 496,168 | - | - | - |
| 平成11年 | 91 | 307 | 764,008 | 4 | 23 | 226,773 | 87 | 284 | 537,235 | - | - | - |
| 平成14年 | 97 | 350 | 773,160 | 3 | 18 | 173,676 | 94 | 332 | 559,484 | - | - | - |
| 平成16年 | 103 | 386 | 778,857 | 7 | 22 | 166,415 | 96 | 364 | 612,442 | - | - | - |
| 平成19年 | 92 | 417 | 713,885 | 10 | 27 | 119,566 | 82 | 390 | 594,319 | - | - | - |
| 平成24年 | 58 | 323 | 858,600 | 5 | 28 | 305,100 | 53 | 295 | 553,500 | - | - | - |
| 平成26年 | 65 | 317 | 572,900 | 9 | 57 | 144,100 | 56 | 260 | 695,700 | - | - | - |
| 平成28年 | 59 | 308 | 560,100 | 10 | 55 | 142,500 | 49 | 253 | 417,600 | - | - | - |

資料：商業統計調査、経済センサス(平成24年)

観光客数の推移



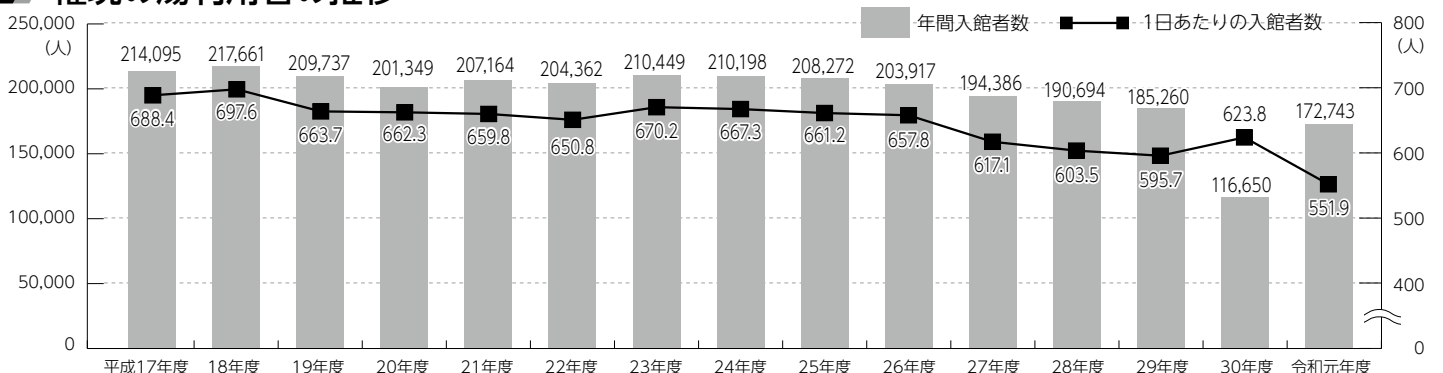
町営リフト利用者の推移

(単位：人)

| 年度 | 夏山リフト | スキー場来場者数 | 合計 |
|--------|---------|----------|---------|
| 平成2年度 | 128,836 | 423,370 | 552,206 |
| 平成7年度 | 79,225 | 368,870 | 448,095 |
| 平成12年度 | 69,037 | 238,300 | 307,337 |
| 平成17年度 | 46,321 | 182,000 | 227,834 |
| 平成22年度 | 40,312 | 125,500 | 165,812 |
| 平成27年度 | 37,651 | 136,083 | 173,734 |
| 令和元年度 | 32,045 | 139,605 | 171,186 |

資料：立科町観光課営業実績数値
スキー・スケート場利用統計調査(長野県観光部山岳高原観光課)

権現の湯利用者の推移



財 政

税収入の移り変わり

(単位：千円)

| 税目年度 | 町民税 | | 固定資産税 | | 軽自動車税 | | たばこ税 | | 電気税 | | その他 | | 合計 | | 収納率 % |
|--------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|-----------|----------|
| | 調定額 | 収入額 | 調定額 | 収入額 | 調定額 | 収入額 | 調定額 | 収入額 | 調定額 | 収入額 | 調定額 | 収入額 | 調定額 | 収入額 | |
| 昭和55年度 | 161,358 | 161,358 | 143,061 | 143,061 | 7,674 | 7,674 | 28,656 | 28,656 | 22,763 | 22,763 | 3,913 | 3,913 | 367,425 | 367,425 | 100.0% |
| 昭和60年度 | 242,408 | 241,298 | 249,389 | 246,920 | 11,250 | 11,214 | 36,121 | 36,121 | 36,784 | 36,784 | 49 | 49 | 576,001 | 572,386 | 99.4% |
| 平成2年度 | 358,744 | 356,911 | 439,613 | 428,622 | 13,531 | 13,500 | 37,354 | 37,354 | - | - | 23 | 23 | 849,265 | 836,410 | 98.5% |
| 平成7年度 | 421,684 | 418,157 | 582,604 | 571,351 | 16,529 | 16,444 | 38,027 | 38,027 | - | - | - | - | 1,058,844 | 1,043,979 | 98.6% |
| 平成12年度 | 347,904 | 331,388 | 582,535 | 538,780 | 19,804 | 19,086 | 44,324 | 44,324 | - | - | - | - | 994,567 | 933,578 | 93.9% |
| 平成17年度 | 296,927 | 280,430 | 607,280 | 522,809 | 22,730 | 21,661 | 40,527 | 40,527 | - | - | - | - | 967,464 | 865,427 | 89.5% |
| 平成22年度 | 347,801 | 319,600 | 627,463 | 472,767 | 24,741 | 23,553 | 35,242 | 35,242 | - | - | 275 | 275 | 1,035,522 | 851,437 | 82.2% |
| 平成27年度 | 350,471 | 327,975 | 600,951 | 431,700 | 26,132 | 24,735 | 43,916 | 43,916 | - | - | 32,304 | 32,304 | 1,053,774 | 860,630 | 81.7% |
| 平成28年度 | 383,246 | 364,153 | 510,153 | 433,873 | 31,596 | 29,959 | 43,383 | 43,383 | - | - | 36,064 | 36,064 | 1,004,442 | 907,432 | 90.3% |
| 平成29年度 | 370,963 | 352,622 | 518,180 | 450,140 | 32,374 | 30,560 | 40,169 | 40,169 | - | - | 36,323 | 36,323 | 998,009 | 909,814 | 91.2% |
| 平成30年度 | 364,518 | 347,003 | 504,738 | 433,843 | 33,164 | 31,790 | 39,501 | 39,501 | - | - | 37,314 | 37,314 | 979,235 | 889,451 | 90.8% |
| 令和元年度 | 367,566 | 348,728 | 532,721 | 453,939 | 34,078 | 32,501 | 41,274 | 41,274 | - | - | 34,779 | 34,779 | 1,010,418 | 911,221 | 90.2% |

(注) たばこ税：昭和63年度までは「たばこ消費税」/ 電気税：平成元年度より廃止 / その他：平成2年度までは特別土地保有税、平成22年度からは入湯税

歳入・歳出の決算状況

一般会計決算の移り変わり【歳入】

(単位：千円)

| | 昭和50年度 | 昭和60年度 | 平成7年度 | 平成12年度 | 平成17年度 | 平成22年度 | 平成27年度 | 令和元年度 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 町税 | 165,916 | 572,386 | 1,043,979 | 933,578 | 865,427 | 851,437 | 861,385 | 911,894 |
| 地方譲与税 | 12,208 | 37,092 | 103,596 | 71,304 | 112,786 | 70,459 | 62,093 | 64,397 |
| 利子割交付金 | | | 24,069 | 37,804 | 4,664 | 3,351 | 1,162 | 679 |
| 配当割交付金 | | | | | 1,457 | 846 | 3,237 | 2,996 |
| 株式等譲渡所得割交付金 | | | | | 2,405 | 315 | 3,314 | 1,725 |
| 地方消費税交付金 | | | | 80,710 | 84,414 | 78,096 | 148,113 | 132,688 |
| ゴルフ場利用税交付金 | | | 14,491 | 16,822 | 11,060 | 10,681 | 9,511 | 8,211 |
| 特別地方消費税交付金 | | | 10,980 | 3,568 | | | | |
| 自動車取得税交付金 | 14,953 | 27,432 | 53,520 | 38,169 | 34,193 | 15,560 | 11,500 | 8,862 |
| 環境性能割交付金 | | | | | | | | 2,151 |
| 地方特例交付金 | | | | 29,572 | 22,958 | 13,305 | 2,161 | 25,182 |
| 地方交付税 | 405,980 | 786,113 | 1,965,175 | 2,120,218 | 1,908,927 | 1,891,451 | 1,847,944 | 1,788,344 |
| 交通安全対策特別交付金 | 997 | 639 | 1,416 | 1,504 | 1,149 | 927 | 770 | 938 |
| 分担金・負担金 | 26,578 | 43,533 | 93,545 | 73,340 | 70,923 | 47,846 | 42,226 | 21,169 |
| 使用料・手数料 | 34,481 | 98,945 | 56,305 | 175,067 | 154,427 | 134,277 | 145,417 | 131,776 |
| 国庫支出金 | 122,295 | 112,177 | 285,750 | 94,528 | 102,729 | 661,911 | 305,157 | 224,486 |
| 県支出金 | 57,395 | 269,970 | 479,355 | 268,798 | 154,556 | 206,240 | 275,764 | 230,451 |
| 財産収入 | 341,372 | 220,513 | 286,464 | 206,349 | 161,313 | 150,830 | 164,017 | 128,592 |
| 寄附金 | 3,498 | 4,122 | 22,165 | 28,024 | 22,479 | 22,850 | 40,018 | 43,151 |
| 繰入金 | | 99,000 | 814,613 | 155,373 | 14,851 | 10,588 | 20,480 | 109,855 |
| 繰越金 | 51,878 | 81,221 | 101,955 | 72,059 | 136,214 | 352,052 | 896,914 | 532,484 |
| 諸収入 | 24,365 | 65,062 | 92,030 | 68,312 | 41,959 | 129,195 | 143,909 | 138,679 |
| 町債 | 71,300 | 156,600 | 748,100 | 569,300 | 192,900 | 286,900 | 529,600 | 328,000 |
| 合計 | 1,333,216 | 2,574,805 | 6,197,508 | 5,044,399 | 4,101,791 | 4,939,117 | 5,514,692 | 4,836,710 |

一般会計決算の移り変わり【歳出】

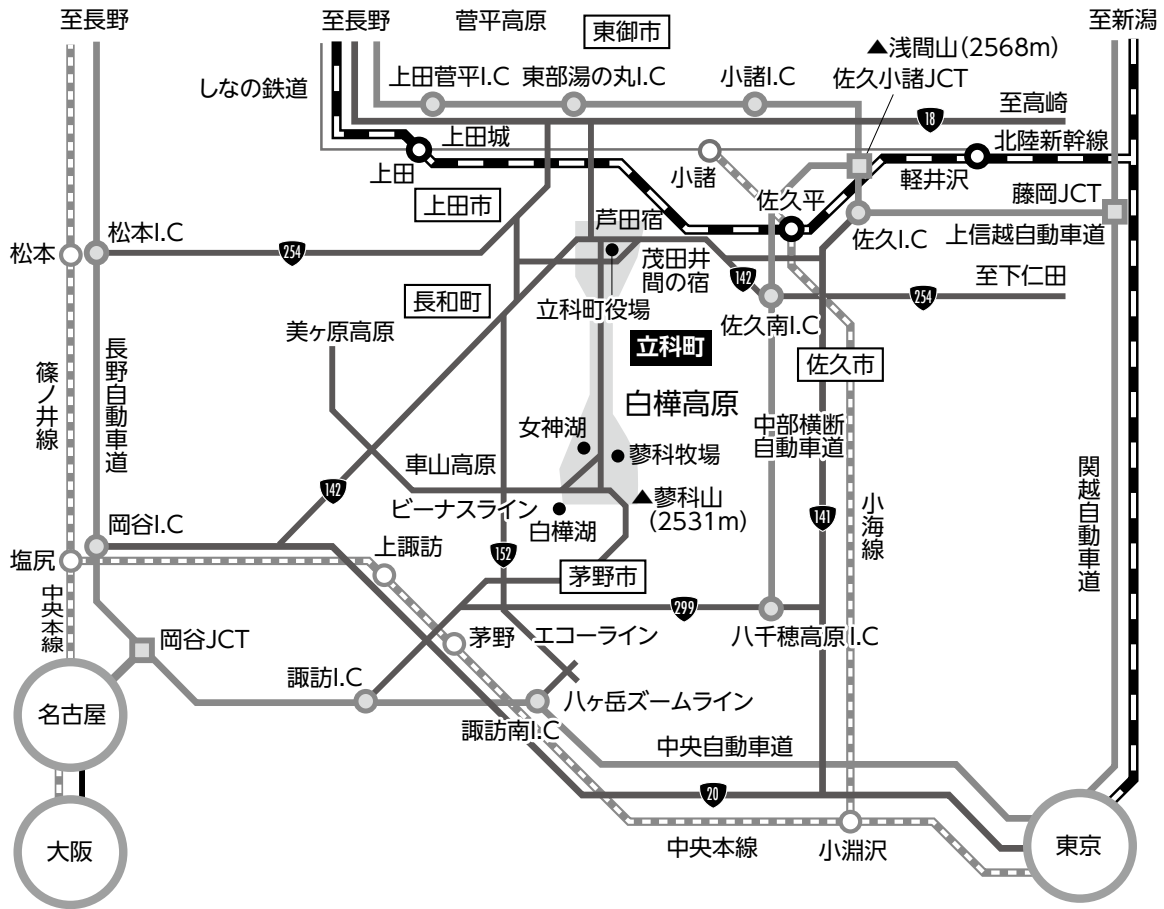
(単位：千円)

| | 昭和50年度 | 昭和60年度 | 平成7年度 | 平成12年度 | 平成17年度 | 平成22年度 | 平成27年度 | 令和元年度 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 議会費 | 18,625 | 44,941 | 91,051 | 80,896 | 75,005 | 59,284 | 71,608 | 65,822 |
| 総務費 | 253,142 | 534,694 | 1,181,897 | 905,510 | 684,483 | 1,347,875 | 1,111,204 | 808,983 |
| 民生費 | 176,015 | 277,062 | 1,032,017 | 731,472 | 718,299 | 803,912 | 864,564 | 936,403 |
| 衛生費 | 24,342 | 102,946 | 196,353 | 228,486 | 297,324 | 298,466 | 384,848 | 324,944 |
| 農林水産業費 | 117,228 | 506,462 | 662,295 | 370,370 | 161,379 | 180,361 | 218,199 | 200,454 |
| 商工費 | 74,828 | 104,000 | 433,725 | 331,608 | 200,843 | 188,986 | 295,905 | 315,362 |
| 土木費 | 68,254 | 249,156 | 1,378,827 | 984,691 | 629,548 | 649,111 | 560,109 | 473,631 |
| 消防費 | 34,297 | 100,289 | 186,653 | 145,579 | 141,220 | 171,938 | 559,323 | 143,900 |
| 教育費 | 440,524 | 277,277 | 491,225 | 454,348 | 309,406 | 292,967 | 418,419 | 512,587 |
| 災害復旧費 | 18,923 | 40,897 | 8,319 | 2,819 | 705 | 19,897 | 29,049 | 93,132 |
| 公債費 | 38,143 | 224,538 | 437,958 | 757,693 | 678,889 | 381,211 | 326,966 | 291,310 |
| 諸支出金 | | | | | | | | |
| 合計 | 1,264,321 | 2,462,262 | 6,100,320 | 4,993,472 | 3,897,101 | 4,394,008 | 4,840,194 | 4,166,528 |

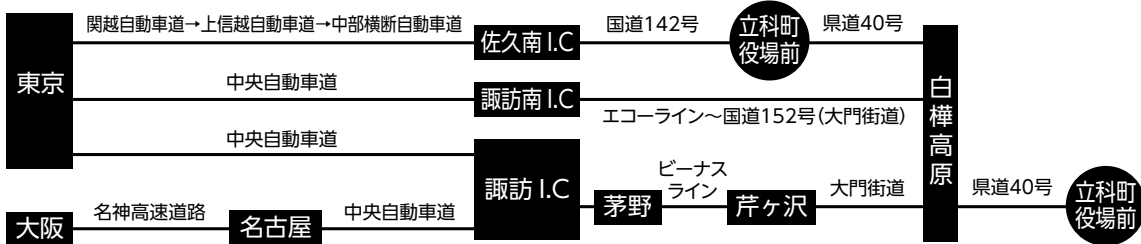
施設一覧

| 施設名 | 所在地（立科町） | 電話(0267) | 有線 |
|---|-----------------------|----------|------|
| 立科町役場 | 芦田2532 | 56-2311 | 2311 |
| 立科町中央公民館 | 芦田2523 | 88-8417 | 4000 |
| 立科町老人福祉センター・保健センター | 芦田2523 | 56-1825 | 4091 |
| 高齢者生きがいセンター | 芦田2529-1 | 56-1825 | 4114 |
| たてしな人権センター | 芦田2529-15 | 56-0059 | 5936 |
| 共生いきがいセンター | 芦田2525-1 | 56-3721 | 4321 |
| 立科温泉権現の湯 | 山部363-2 | 56-0606 | 4126 |
| 立科町こども未来館（児童館） | 芦田3752-9 | 56-0248 | 8888 |
| 心かよう館（太鼓道場） | 芦田3752-1 | | 3009 |
| 権現山運動公園（クラブハウス） | 山部353-1 | | 6042 |
| 権現山屋内運動場 | 山部353-12 | | 6042 |
| 体育センター（総合体育館） | 芦田3752-1 | 56-3373 | 3008 |
| 立科町青少年交流センター（スカウトハウス） | 芦田2529-15 | | 2651 |
| 立科町ふるさと交流館「芦田宿」・移住サポートセンター | 芦田2602-1 問い合わせ 企画課 | 88-8403 | 2311 |
| 立科町土地改良区 | 芦田2532 | 56-1133 | 2170 |
| 交流促進センター「耕福館」 | 茂田井2471-1 | 51-4151 | 4200 |
| クライנגアルテン | 問い合わせ 農林課 | 88-8408 | 2311 |
| たてしな保育園 | 芦田2991-6 | 56-0022 | 2100 |
| 立科小学校 | 芦田3700 | 56-3131 | 2190 |
| 立科中学校 | 芦田3265-1 | 56-1076 | 2251 |
| 陣内森林公園 | 芦田5352-1 問い合わせ 農林課 | 88-8408 | |
| 白樺高原国際スキー場 しらかば2in1スキー場 蓼科牧場ゴンドラリフト | 指定管理者 檜山スノーテック株式会社 | 55-6000 | |
| 女神湖体育館 | 芦田八ヶ野1001 問い合わせ 観光課 | 55-6201 | |
| 女神湖スポーツ広場1530 | 問い合わせ 観光課 | 55-6201 | |
| 夢の平キャンプ場（5～10月） | 問い合わせ 観光課 | 55-6201 | |
| 蓼科クロスカントリーコース | 問い合わせ 観光課 | 55-6201 | |
| 蓼科野外音楽ホール | 芦田八ヶ野1047 問い合わせ 観光課 | 55-6201 | |
| 御泉水自然園ビジターセンター（4～11月） | 芦田八ヶ野709 | 55-6131 | |
| 蓼科第二牧場 | 問い合わせ 観光課 | 55-6201 | |
| 蓼科ふれあい健康支援センター女神 | 芦田八ヶ野1000-1 | 55-6151 | |
| 女神湖センター | 芦田八ヶ野982 | 55-6210 | |

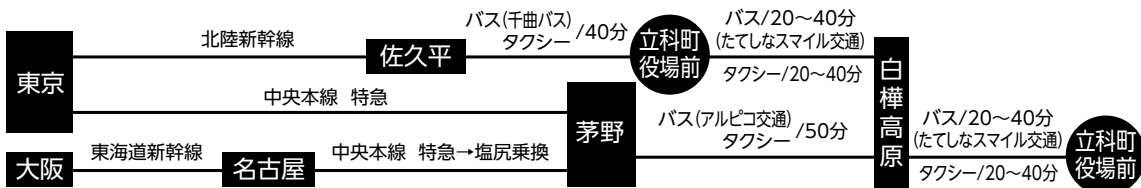
アクセス



自動車で



電車・バス・タクシーで





立科町マスコットキャラクター
しいなちゃん



【町章】

雄大な山々をまるく治め、
美しい自然に囲まれ、
未来に向かって雄々しく立つ立科町の姿を
「立」の字に託して図案化したものである。
昭和三十八年（一九六三年）五月八日制定

【町民憲章】

わたくしたちは、躍進する立科町の町民です。すすんで
力をあわせ、愛する郷土の未来をひらきます。
躍進と発展が立科町の最大の特徴であることを自覚し、
誇りをもつ町民となります。そして、すすんでまちづくりに
参加し、和協一致の精神で、総意を結集して、愛する郷土
立科町の輝かしい未来をひらくことを、一人ひとりの胸に
誓います。

◆美しいまちをつくりましょう。

自然を愛します。
まわりをきれいにします。
公共物を大切にします。

◆明るいまちをつくりましょう。

スポーツに親しみます。
公衆衛生を重んじます。
安全にくらせるようにします。

◆あたたかいまちをつくりましょう。

生涯教育をすすめて、教養を高めます。
伝統を育て、文化財を大切にします。
なごやかな家庭をつくり、あたたかく人に接します。

◆豊かなまちをつくりましょう。

仕事に生きがいを求めます。
よく考え希望をもって働きます。
たがいに仕事を理解しあいます。

◆住みよいまちをつくりましょう。

すすんでまちづくりに参加します。
きまわりを正しく守ります。
たがいに助けあい仲間づくりをすすめます。

昭和五十五年（一九八〇年）九月十九日制定



町木【シラカバ】



町鳥【キジ】



町花【スズラン】



立科町

町勢要覧 2020

発行
長野県北佐久郡立科町

【立科町役場】
長野県北佐久郡立科町大字芦田 2532
電話 0267-56-2311(代)

【発行日】 令和2年(2020)10月

【編集】 立科町勢要覧編集委員会